文学研究科

２０２７年度

大学院学生募集要項

博士前期課程・修士課程入学試験

一　般　入　学　試　験

外国人留学生入学試験

社会人特別入学試験

飛　び　入　学　試　験

博士後期課程入学試験

一　般　入　学　試　験

外国人留学生入学試験

明　治　大　学

出願及び入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき、入学試験、合格発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。これらの業務の一部を、明治大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、同業者に対して、提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、明治大学における入学者選抜及び教育改善のための調査に利用します。あらかじめご了承ください。

明治大学では、入学手続時の学籍処理ならびに入学後の統計処理等における必要性から、性別情報の取得は必要最小限に留め、限られた範囲で慎重に取り扱います。

目　　次

人材養成その他教育研究上の目的……1
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）……2
教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）……3
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）……5

１．入学試験日程一覧……8
２．入学試験
博士前期課程・修士課程……9
（１）－１　一般入学試験（英文学専攻英語教職専修を除く）……11
（１）－２　一般入学試験（英文学専攻英語教職専修のみ）……13
（２）外国人留学生入学試験……14
（３）社会人特別入学試験……16
（４）飛び入学試験……17
博士後期課程……18
（１）一般入学試験……20
（２）外国人留学生入学試験……22
３．出願書類一覧……24
４．出願手続
（１）出願方法……26
（２）出願書類の記入方法……26
参考 外国の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業(見込)・修了(見込)証明書について……35
（３）入学検定料の納入……37
（４）受験及び修学における配慮について…… 38
５．受験票……38
６．入学試験当日の注意……39
７．学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項……39
８．合格発表……40
９．入学手続
（１）入学手続書類の送付及び入学手続期限について……40
（２）入学手続について……41
（３）保証人について……41
10．問い合わせ先……42
11．授業時間帯について……42
12．大学院奨学金制度について……43
13．ビザ（査証）について
（１）受験ビザ取得について……44
（２）留学ビザ取得について……44
14．入学諸費用等について……45

人材養成その他教育研究上の目的

【文学研究科】

文学研究科は、日本文学、英文学、仏文学、独文学、演劇学、文芸メディア、史学（日本史学、アジア史、西洋史学、考古学の４専修）、地理学、臨床人間学（臨床心理学、現代社会学、教育学の３専修）から構成され、いずれの専攻・専修においても、多角的な人文科学の基礎科学を修得しつつ、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与することを目的にしている。豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化と科学的な時間・空間認識を会得した優れた人材育成（博士前期課程では専門的知識を有する社会人を、後期課程では専門的に研究に携わる研究者の養成）を目標とする。

【日本文学専攻】

日本文学専攻は、古典から現代までの日本文学全般を多様な視座から究明するとともに、その統一的把握を目指す。従来の文献研究・テキスト批評を堅固な基礎としつつ、歴史に対する幅広い関心を持って新しい研究領域を切り開き、文学と社会の関連を明らかにする。このような実践を通して、日本文学の専門的研究者・教育者及び日本文化に関する高度な素養を身につけた教養人の育成を行う。

【英文学専攻】

英文学専攻博士前期課程は、４専修から構成される。英文学・米文学・英語学専修では、各分野についての専門知識を身につけて後期課程に進学し、研究者への道を歩む人材の養成を目的とし、英語教職専修では、高度な専門知識を有する中高英語教員の養成を目指す。博士後期課程は、英文学・米文学・英語学の３専修から構成され、身につけてきた知識を基盤に各自の研究を発展させて博士論文を完成させ、その後も自立した研究を積み重ねていく人材を育てる。

【仏文学専攻】

フランスとその文化は、一方ではギリシャ－ローマ、他方ではユダヤ－キリスト教の伝統に深く根ざしながら、常に様々な分野で斬新な創造を続けてきた。その役割は今も縮小してはおらず、ＥＵ及び世界５０ヶ国に及ぶフランス語圏の中心として、そこから学ぶべきものが多々ある。そのような状況の中で、本専攻では、高度なフランス語運用力、フランス文化・思想・文学に関する広範な知識、繊細かつ大胆な国際感覚と実践力を備えた研究者、社会人、文化人の育成を目指す。

【独文学専攻】

ドイツ文学を歴史的コンテクストと現代的アクチュアリティを視野に入れながら研究することによって、ドイツの文化と社会についての理解を深め、日独の交流に役立つような人材を養成することを目的とする。このためには、学術的な討論ができる程度にドイツ語の運用能力を高め、同時に、日本のことをドイツ語で語ることができるような日本の文化についての深い教養を培う。

【演劇学専攻】

演劇学専攻では、博士前期課程においては、高度な専門的知識を修得した研究者の養成に加え、幅広く劇作家、演出家、戯曲・演劇の歴史的・理論的著作の翻訳家、演劇制作者などを目指す人材の養成を目的とする。博士後期課程においては、課程博士号の取得を目指す者を含めて、演劇学研究者を目指す人材の養成を目的とする。

【文芸メディア専攻】

文芸メディア専攻は、「メディア環境の中の文芸」という立場を設定し、メディアとは何かという問題意識を重く踏まえた上で、「文芸というメディア」及び「メディアとしての文芸」の視座から文芸研究・メディア研究に取り組む。文芸への深い知識と教養を兼ね備えながら、言語テキストとそれが置かれたメディア環境の相互的関連を視野に収める専門的知識人の育成を目指す。

【史学専攻】

史学専攻は、日本史・アジア史・西洋史・考古学の４専修から構成され、研究素材である各種史資料の分析に基礎を置く実証主義と歴史を生み出したフィールドを重視する実践主義を教育・研究の柱とし、学際的・国際的視点を伝統的に重視している。近年は、専攻が属す研究科の特性を生かし、文学研究科諸専攻との学際協力も緊密である。その研究・教育を通じ、史学専攻は、歴史学の専門研究者及び教育者並びに豊かな歴史への素養を身につけた高度教養人を育成することを目的とする。

（日本史学専修）

日本史学専修は、日本の歴史を多様な視座から究明するとともに、その統一的把握を目指す。その研究・教育は、各種史資料の批判的検討やフィールドワーク等による実証を基礎とするとともに、視野を隣接諸科学にも広げ、また、国際的視野に立つことを目指す。日本史学専修ではそのような教育・研究の実践を通じ、日本史学の専門的研究者・教育者及び日本史学の高度な素養を身につけた教養人の育成を目標とする。

（アジア史専修）

アジア史専修は、中国・朝鮮の東アジア史研究を大きな柱に、西アジア史をもう一つの柱に据え、文献資料や出土史料の分析だけでなく、現地調査や外国研究者との交流も積極的に推進して研究を進める。博士前期課程ではアジア諸地域に対する深い学識を持っ

た高度教養人を、博士後期課程では国際的発信力を持った研究者を養成する。

（西洋史学専修）

西洋史学専修は、人間社会の歴史的探求をその本旨とするが、中でも西洋の古代から現代までを見通してそれを行う。また、世界に対する幅広い見識と歴史についての深い理解と教養を身につけて、それを基に自分自身をしっかりと表現でき、人類の発展に寄与できる人間形成を目指す。

（考古学専修）

考古学は、遺跡・遺物といった物質資料に基づき文字の無い時代を含めた歴史の再構築を目指す学問である。その教育・研究は、発掘・測量調査又は遺物実測などによる現場性・実証性を基礎に置くと同時に、視野を隣接諸分野・諸外国に広げ、考古学的研究成果を歴史学の大きな枠組みの中に位置づけることを目指す。本専修では地道な基礎研究に加えて、学際的・国際的研究活動に参加することを通じて、考古学の専門的研究者、地方自治体の文化財担当者、博物館学芸員、教育者及び考古学の高度な素養を身につけた教養人の育成を目的とする。

【地理学専攻】

地理学専攻は、グローバルな空間的視野を重視しつつ、都市や村落及びその複合体の地域構造を、社会・文化・経済・産業・行政・自然条件等の観点から実証的に探究する能力を持つ人材の育成を目的とする。その方策として、深い専門知識獲得のための体系的な学習指導を徹底し、かつ、フィールドワークによる継続的な実地教育と研究指導を実践する。

【臨床人間学専攻】

今日の人間社会は、政治・経済・文化・教育の構造的変化を伴う未曾有の変動期を迎え、既成の価値観や人間関係の在り方を根底から揺るがす変化と混乱の事態に直面している。臨床人間学専攻は、現代社会が直面するこうした状況における心理・社会的危機の克服に向けて、個々の地域社会や個人を実践的に支援する専門家及び公的セクターで貢献する実践者を育成するとともに、直面する危機的状況のメカニズムを解明するための研究者を育成することを目的とする。

（臨床心理学専修）

臨床心理学専修は、今日の社会において緊急性の高いニーズである「心のケア」、すなわち、うつ病や不安障害等の心の病気、不登校やいじめ、無気力等の学校不適応、育児ストレス、児童虐待、家庭内暴力等の家族関係の問題など、あらゆる世代の個人及び様々な集団において生じる心理・社会的諸現象への専門的対処に直接的かつ具体的にアプローチする臨床心理学の専門家の養成と実践的な研究の推進を目指す。

（現代社会学専修）

現代社会は、地球温暖化をはじめとする環境や生命の危機、グローバル化と情報化にともなう政治・経済・文化の構造変化と格差拡大などの新たな問題、また世界的な人権意識の向上、差別解消や格差是正への要求の高まりなどをかかえ、社会システムのあり方を、持続可能でより平等で人権が尊重されるものに根底から作り変えるべき重要な地点にある。現代社会学専修は、現代社会の危機や新たな社会的問題の克服と、よりよい社会の創生に向けて、複雑な状況のメカニズムを解明する研究者と、具体的な活動に取り組む専門家および実践者を育成することを目的とする。

（教育学専修）

教育学専修は、多文化共生社会、およびデジタルアーカイブを主要な構成要素とする知識基盤社会における人間形成と生涯にわたる学びが重視される今日、「教育」という事象を教育現場と教育実践に焦点あてつつ、教育学、社会教育学、博物館学および図書館情報学の４領域による横断的・多角的な教育研究をとおして、現代社会に求められる教育に関する幅広い知見と高度な専門知識を有した人材を育成するとともに、学校、公民館、博物館、図書館等の教育関係機関における教育実践を担う専門職の養成と再教育を目的としている。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【博士前期課程・修士課程】

文学研究科博士前期課程及び修士課程は、多角的な人文科学の基礎科学を修得しつつ、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与することができる人材を育成することを目指しています。このため、本研究科では主に次のような資質や意欲を持つ学生を積極的に受け入れます。

（1） 当該専攻・専修で必要とされる思考力、知識、語学力を学士課程ですでに養っていることに加えて、世界・社会のヴィヴィッドな動向への幅広い視野と関心、及び身近な日常的事象に対する鋭敏な感性と問題発見能力、常識に囚われない「自明性」を懐疑し得る自由な着眼力、大胆な仮説に基づき、これらを緻密かつ誠実に分析・考察し得る論証能力、さらには専門分野だ

けに偏らない深い教養、また、以上のことを的確に表現し得る高度に洗練された言語能力等を兼ね備えた者。

（2） 将来、専攻領域及び関連分野の高度な専門的知識と確かな技能を持って、地域社会及び国際社会の一員として活動する意志と覚悟を有する者。

以上の求める学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験、飛び入学試験を実施し、入学者選抜を行ないます。

なお、修得しておくべき知識等の内容・水準を以下の通り示します。

ア 学士課程において修得すべき思考力、知識、語学力を充分に備えていること。

イ 自分を世界・社会のなかに位置づけ、幅広い教養を得ながら、自分自身で追究し、またその成果を文章に表すことができること。

【博士後期課程】

文学研究科博士後期課程は、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与しつつ、豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化的教養と精緻な科学的認識を会得した優れた人材を育成することを目指しています。このため、本研究科では主に次のような資質や意欲を持つ学生を積極的に受け入れます。

（1） 当該専攻・専修博士前期課程修了のために必要とされる知識と思考力と語学力を備え、指導教員が必要水準以上と判断した修士号請求論文を提出し、論文審査に合格した者、あるいはそれと同等の能力を所有する者。

（2） 博士学位請求論文提出の意欲を持ち、そのために必要な高度な学習や実習に加えて、海外への長期留学、各種学会での発表、紀要論文等の執筆を着実に遂行することができ、かつ、世界的水準での自立した研究者、教育者として、日本及び海外諸国で貢献できるまでの困難な道程を歩む気概と具体的戦略図を持った者。

以上の求める学生像に基づき、一般入学試験、外国人留学生入学試験を実施し、入学者選抜を行ないます。

なお、修得しておくべき知識等の内容・水準を以下の通り示します。

ア 博士前期課程修了のために、必要とされる知識、思考力、及び言語能力（語学力を含む）を備え、修士号論文審査の合格を有していること。

イ 博士学位論文提出に向け、さらなる研究への探求とそれを進めるための技術的なスキル、目的遂行能力を備えていること。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【博士前期課程・修士課程】

現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与しつつ、豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化的教養と精緻な科学的認識を会得した優れた人材を輩出することが、文学研究科博士前期課程及び修士課程の教育理念並びに目標です。そのために、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与する能力を会得するために、以下のような方針に基づきカリキュラムを編成しています。

（1）各専攻・専修での学部課程での学習、実習成果をさらに発展させつつ、より深い学識を身につけさせることで、先端的な専門知識への道を開き示すと共に、苦手な分野では基礎的な学習と作業へ立ちかえらせます。

（2）「総合文学研究」「総合史学研究」「特別講義」のような科目、並びに学術講演会などを通じて、専門外の多様な知識にも広く触れてもらいます。そのために客員教員、特任教員等の制度も活用します。

（3）研究指導においても、修士学位論文の執筆についてはきめ細かな指導を行うのみならず、中間発表などで口頭発表、論文作成の基礎習得を重視した指導体制を構築しています。

（4）成果還元としては、大学間での研究発表会レベルでの発表を想定し、これを推進しています。

（5）分野別には、以下の力点を設定しています。

学位（文学）

日本文学： ア 日本文学・国語学・漢文学に関する修士学位論文作成に向け、執筆能力を段階的に涵養すべく、演習科目を設けて研究構想・先行文献の評価・成果発表等を実践的に指導します。

イ 特論科目によって分析・考察のスキルを深めます。

ウ 関連する専門科目の履修によって、幅広い視点を有することができるような能力を育みます。

英文学： 英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語学等に関する修士学位論文の執筆に必要となる知識・読解力・分析力・発表能力の習得に資する科目群を配置しています。

仏文学： ア フランス語圏の文学・文化・思想について、分野ごと及び時代ごとの専門知識を深められるような演習科目と特論科目を配置しています。

イ 特に演習科目においては語学力、読解力、発表力、論文作成力などが身につくようカリキュラムを編成しています。

独文学： ア ドイツ語圏の語学、文学、文化及び思想の研究領域の幅の広さに鑑み、個別領域の学術的知識を深める科目を配置しています。

イ 同時に、分野横断的な基礎学習も継続できるようにカリキュラムを編成しています。

演劇学： 演劇史・演劇学の研究領域の幅の広さに鑑み、個別の領域の専門知識を深めると同時に、幅広い基礎的な学習も継続できるようにカリキュラムを編成しています。

文芸メディア： 分野、また、作家・作品研究に専門化した演習・特論のほか、文芸の分野横断的研究のために、日本文芸史、表象文化、表現創作の各特論を配置したカリキュラムを編成しています。

学位（史学）

史学： 演習・実習などの実践的な授業と、歴史学・考古学の幅広い内容の講義を提供するとともに、複数の教員によるきめ細かな研究指導を行うカリキュラムを編成しています。

学位（地理学）

地理学： ア 地理学に関する修士学位論文を作成するために、研究・執筆能力を段階的に涵養すべく演習科目を設けて研究構想、先行研究の評価、成果発表などを行う科目を配置しています。

イ 同時に、調査・分析・考察の手法を深め、さらに関連する専門科目の履修によって、幅広い視点を育むカリキュラムを編成しています。

学位（人間学）

臨床心理学： ア 今日の社会において緊急性の高いニーズである「心のケア」、すなわち、うつ病や不安障害等の心の病気、学校における不適応やいじめ等の問題、育児ストレスや児童虐待・家庭内暴力等の家族関係の問題、性的マイノリティや性機能等ジェンダーやセクシュアリティをめぐる諸問題、ＤＶやハラスメント等の人権に関わる問題など、あらゆる世代の個人及び様々な集団において生じる心理・社会的諸現象に対する専門的対処に、直接的かつ具体的にアプローチする臨床心理学の専門家の養成と実践的な研究の推進を目指すカリキュラムを編成しています。

イ また、臨床心理士・公認心理師の資格取得カリキュラムに対応するため、講義演習と併行して学内外の専門機関における臨床実習のコマを多数設置しています。

現代社会学： 人間や社会の抱える諸課題の実践的課題解決に向けた専門的な構想力を身に着けるため、社会の現場での実習を重視したカリキュラムを編成しています。講義・演習・実習のバランスの基本的な目安としては、講義が３分の１を超えないこととします。

教育学： 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した力を獲得し、専門性を生かした進路に進めるよう、講義・演習・実習を適切に組み合わせ、分野横断的に問題の本質を理解できる能力を育むカリキュラムを構成します。

【博士後期課程】

文学研究科博士後期課程の教育理念・目標である、専門的に研究に携わる研究者として豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化的教養と精緻な科学的認識を会得することを実現するために、以下に示す方針に基づきカリキュラムを編成しています。

（1） 各専門分野において、自己の研究を客観的に位置づけ、その意義、成果と問題点を世界的水準で認識し、それについて内外の研究者たちと闊達に議論でき、また、国際シンポジウムなど、研究の国際的協力体制を築くことができる能力を、専攻横断的でかつ受講者参加型の科目を交えて養成します。

（2） 学内・学外のＧＰ、大型共同研究にも積極的に参加して経験を積み、高度な学問的研鑽の社会的責務を宿した知的倫理性を養成します。

（3） 研究指導においても、指導教員を中心としながら、当該分野での最も困難な問題、それを解明するための最も高度な知識、最も先端的な方法を提示し、各専攻・専修において、博士学位請求論文完成までの明確なガイドラインにのっとった指導体制を構築しています。

（4）文学部の助手制度を活用し、その期間の留学を可能にしています。また、国内外調査などへの助成を様々な形で行っています。

（5）分野別には、以下の力点を設定しています。

学位（文学）

日本文学： 日本文学・国語学・漢文学に関する各種の関連学会・研究会等へ積極的に参加して研究発表を行いつつ、多様で優秀な人材との交流を深めることで、学位論文全体を統一するテーマを広く大きな視野に基づいて設定できる能力を養えるカリキュラムを編成しています。論文指導のもとで客観的な査読に耐えるような個別的論考の執筆を積み上げ、それらを博士学位論文としてまとめることができます。

英文学： 英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語学等に関する博士学位論文の完成を目標とした継続的指導を行い、学会等での発表、学術雑誌等への執筆のための指導を可能とするカリキュラムを編成しています。

仏文学：　ア　フランス語圏の文学・文化・思想について、それぞれの研究主題に基づき博士学位論文を作成できるようになるための長期計画に基づいた指導を行っています。
イ　学内外の雑誌のための論文作成や研究発表についても適宜指導を行います。
ウ　長期の海外留学を積極的に奨励しています。
エ　研究の深化と視野の拡大、語学力の錬磨を意識づけることを可能にするカリキュラムを編成しています。

独文学：　自己の研究を、個別の専門領域において深化させるとともに、学際的な視点をもって客観的に位置づけられる研究者の養成のため、学内での研究発表会や国内外の関連学会での発表促進、学会誌等の論文及び博士学位論文執筆の指導、そして研究を深化させ発信力を高めるための積極的長期留学奨励を含むカリキュラムを編成しています。

演劇学：　自己の研究を個別の専門領域において深化させるとともに、学際的な視点の中で客観的に位置づけられる研究者を養成するため、専攻内での研究発表会や国内外の関連学会の発表を促進し、学会誌等の論文執筆の指導を含むカリキュラムを編成しています。

学位（史学）

史学：　ア　内外の研究活動や学会に参加して経験を積み、研究成果を積極的に発信することを奨励しています。
イ　外国史専修者には、長期の海外留学を奨励するとともに実践的な語学力を養成します。

学位（地理学）

地理学：　ア　地理学に関する博士学位論文のテーマを広く大きな視野に基づいて設定できる能力を養い、学位論文を作成できるようになるための長期計画に基づいて指導します。
イ　この指導の下で、内外の関連する学会・研究会などに積極的に参加して研究発表を行いつつ研鑽を積ませるべく、カリキュラムを編成しています。

学位（人間学）

臨床心理学：　研究で導き出された知見を臨床実践に、また現場で体験的に得られたデータを研究に、それぞれを有機的に結びつけて還元することができる人材を育て、また後進を専門的に高度に指導できる教育・研究者、現場指導者の育成を目指すカリキュラムを編成しています。

現代社会学：　ア　現代社会の社会現象や社会問題について、国際的な最高水準の研究を含めた幅広い知識と専門的な分析力を身に着けるべく、国内、国際学会での研究交流と研鑽を目指すカリキュラムを編成しています。
イ　研究対象として選んだ社会現場において、もっとも徹底した、もっとも先端的な水準の研究を行えるカリキュラムです。

教育学：　学位授与方針（ディプロマポリシー）に示した力を獲得し、専門性を生かした進路に進めるよう、演習を中心として指導を行い、学会発表・論文投稿など研究成果公開を推進するカリキュラムを編成しています。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【博士前期課程・修士課程】

文学研究科博士前期課程及び修士課程は、多角的な人文学の基礎を修得しつつ、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与することが出来る人材を輩出することを目指しています。この人材養成目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに学位論文に基づき、以下に示す能力を備えたと認められる者に対し修士（文学、史学、地理学または人間学）の学位を授与します。

（1）　主体的に学び研究する能力。
（2）　幅広い学識、並びに語学力等を生かせる言語コミュニュケーション能力と研究能力。
（3）　問題を発見してそれを粘り強く解こうとする目的遂行力、自らの考えを他者に的確に伝え得る文章表現能力、及びそれを評価できる能力。
（4）　学士課程よりも高度な課程で学習する自分を世界、社会のなかに位置づけ、自分に何が成し得るかを客観的かつ謙虚に振り返り、自己を対象化できる能力。
（5）　論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力。
（6）　学問成果に基づいて、社会に貢献する実践力。
（7）　分野別には、以下に掲げる能力を求めます。

学位（文学）

日本文学：　日本文学・国語学・漢文学に関し、自分の対象とした分野・時代・作家・作品・資料等について、独自の問題設定ができ、新規性のある内容を、論理的に表現して提示できる能力。

英文学：　英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語学等に関し、自分の対象とした分野・作家・作品・文化事象・言語事象等について、問題の発見を行い、それに対して独自の見解を実証的・論理的な解法で提示できる能力。

仏文学：　フランス語圏の文学・文化・思想などの分野で幅広い知識と専門的学力をもち、自分の力で問題を発見し、実証的な方法によって分析・考察を行い、独自な見解や仮説を示しうる能力。

独文学：　ドイツ語圏の語学、文学、文化及び思想に関する幅広い学術的基礎知識を持ち、普遍的課題につらなる独自の研究を創

成するために応用できる能力。

演劇学： 演劇史・演劇学に関わる深い学術的知識と上演芸術研究に必要な分野横断的な幅広い視野を持ち、課題の本質を分析する能力。

文芸メディア： 文芸概念を「文芸というメディア」、「メディアとしての文芸」という観点から分野横断的に捉え、新たな文芸研究を構築していく能力。

学位（史学）

史学： 歴史学・考古学における幅広い知識と専門的技能を持ち、科学的な分析を進めうる能力。

学位（地理学）

地理学： 地理学における幅広い知識と専門的学力・技能を持ち、科学的根拠に基づいて地理的事象について分析を進めうる能力。

学位（人間学）

臨床心理学： 科学的根拠に基づいて人間や社会が抱える諸問題に向き合い、臨床心理学的に観察・分析する能力、及び言語・非言語にかかわらず、他者が発する気持ちに対し共感的に傾聴し、専門的に支援できる能力。

現代社会学： 現代社会の社会現象や社会問題について、幅広い知識と専門的な分析力をもって理解し、人間や社会が抱える諸問題の実践的課題解決に向けた専門的な構想を可能にする能力。

教育学： 教育学・社会教育学・博物館学・図書館情報学のいずれかの分野における幅広い知識と専門的学力を持ち、人間形成における理念、社会的機能と課題について理解し、実践的課題解決とも結びつける能力。

【博士後期課程】

文学研究科博士後期課程は、現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与しつつ、豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化的教養と精緻な科学的認識を会得した優れた人材を輩出することを目指しています。この人材養成目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに学位論文に基づき、以下に示す資質や能力を備えたと認められる者に対し博士（文学、史学、地理学または人間学）の学位を授与します。

（1） 深い学識、語学力、思考力を備えて当該分野における国際的水準の研究を自立して遂行できる能力。

（2） 研究や他の人々と向き合ってみずからの研究成果を伝えうる発信能力。

（3） 研究者として学問成果を広く社会に問い還元し、後進の教育ができる能力。

（4） 分野別には、以下に掲げる能力を求めます。

学位（文学）

日本文学： 日本文学・国語学・漢文学に関し、自分の対象とした分野・時代・作家・作品・資料等について、高度な問題設定ができ、学界に貢献できる内容を、説得力のある表現で提示できる能力。

英文学： 英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語学等に関し、自分の対象とした分野・作家・作品・文化事象・言語事象等について、問題の発見を行い、それに対して独自の見解を実証的・論理的な解法で提示し、当該分野の研究の発展に貢献し、社会への貢献ができる能力。

仏文学： フランス語圏の文学・文化・思想の分野で、研究者・教育者として自立し活動できるだけの知識・語学力・思考力・発表力・論文作成力などを備えた能力。

独文学： ドイツ語圏の語学、文学、文化及び思想に関して広く深く学術的研究に取り組むとともに、その成果を国内外の研究交流を通じて深め、研究・教育をはじめとする社会的活動の場に還元していく能力。

演劇学： 演劇史・演劇学に関して広く深く学術的研究に取り組むとともに、その成果を国内外の研究交流を通じて深め、様々な場において社会的文化活動や教育の場に還元していく能力。

学位（史学）

史学： 歴史学・考古学における深い知識と高度な技能を修得し、人間の過去の営為を分析評価する能力。

学位（地理学）

地理学： ア 地理学における幅広くかつ深い知識と高度な専門的学力・技能を修得し、科学的根拠に基づいて地理的事象について分析評価する能力。

イ 研究者として自立し活動できるとともに、指導者として後進を教育・育成する能力。

学位（人間学）

臨床心理学： ア 個人や社会の抱える諸問題に対し、臨床心理学的視点から高度に分析・研究する能力。

イ 研究で得られた知見を臨床現場において実践し、専門家として現場に還元する能力。

ウ 指導者として後進の研究者や臨床家を教育・育成する能力。

現代社会学：　ア　現代社会の社会現象や社会問題について、国際的な最高水準の研究を含めた幅広い知識と専門的な分析力をもって理解する能力。

イ　人間や社会が抱える諸問題の実践的課題解決に向けた専門的な構想を可能にする能力。

ウ　自立した研究者として成果を広く社会に問い、還元・教育ができる能力。

教育学：　教育学・社会教育学・博物館学・図書館情報学のいずれかの分野における幅広い知識と高い専門的学力を持ち、人間形成における理念、社会的機能と課題について理解し、研究的・実践的な課題を提起する能力。

１．入学試験日程一覧

<table>
<tr><th>入試期</th><th>入試種別</th><th>入学検定料納入期間
（日付印有効）</th><th>出願期間
（日付印有効、ただし国外から出願する場合は出願期間の最終日必着）</th><th>筆記試験日</th><th>面接試問日</th><th>合格発表
日時・場所</th><th>入学手続締切日</th></tr>
<tr><td colspan="8">博士前期課程・修士課程</td></tr>
<tr><td>Ⅰ期</td><td>一　般
外国人留学生</td><td>6/24（水）～7/8（水）</td><td>7/3（金）～7/8（水）</td><td>9/16
（水）</td><td>9/17
（木）</td><td>9/19（土）
午前10時
・
文学研究科ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ※</td><td>11/27
（金）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Ⅱ期</td><td>一　般
外国人留学生
社会人特別*1
飛び入学</td><td>11/18（水）～12/2（水）</td><td>11/27（金）～12/2（水）</td><td rowspan="3">2/23
（火）</td><td rowspan="3">2/24
（水）</td><td rowspan="3">2/26(金)
午前10時
・
文学研究科ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ※</td><td rowspan="3">3/10
（水）</td></tr>
<tr><td colspan="3">本学文学部卒業見込者*2</td></tr>
<tr><td>一　般
外国人留学生</td><td>11/18（水）～1/12（火）</td><td>11/27（金）～1/12（火）</td></tr>
<tr><td colspan="8">博士後期課程</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Ⅱ期</td><td>一　般
外国人留学生</td><td>11/18（水）～12/2（水）</td><td>11/27（金）～12/2（水）</td><td rowspan="3">2/23
（火）</td><td rowspan="3">2/24
（水）</td><td rowspan="3">2/26(金)
午前10時
・
文学研究科ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ※</td><td rowspan="3">3/10
（水）</td></tr>
<tr><td colspan="3">本学文学研究科博士前期課程・修士課程修了見込者</td></tr>
<tr><td>一　般
外国人留学生</td><td>11/18（水）～1/12（火）</td><td>11/27（金）～1/12（火）</td></tr>
</table>

※　https://www.meiji.ac.jp/dai_in/arts-letters/index.html

＊1 社会人特別入学試験は、博士前期課程史学専攻（日本史学専修、アジア史専修、考古学専修）と臨床人間学専攻（現代社会学専修、教育学専修）のみ実施します。

＊2 本学文学部９月卒業者は該当しません。

【面接試問について】

面接試問は、受験者全員に行います。（詳細は筆記試験時に指示します。）ただし、博士前期課程臨床人間学専攻臨床心理学専修は、筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行い、筆記試験合格者のみに翌日の面接試問を実施します。

２．入学試験

博士前期課程・修士課程

① 募集人員

専　攻	専　修	募集人員	
日本文学		Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
英　文　学	英文学専修 米文学専修 英語学専修 英語教職専修*	Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
仏　文　学		Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
独　文　学		Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
演　劇　学		Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
文芸メディア		Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
史　　学	日本史学専修 アジア史専修 西洋史学専修 考古学専修	Ⅰ期	15
		Ⅱ期	10
地　理　学		Ⅰ期	3
		Ⅱ期	2
臨床人間学	臨床心理学専修	Ⅰ期	4
		Ⅱ期	2
	現代社会学専修	Ⅰ期	2
		Ⅱ期	2
	教育学専修	Ⅰ期	2
		Ⅱ期	2

*英語教職専修は、Ⅱ期のみ募集

② 選考方法

○一般入学試験・外国人留学生入学試験・社会人特別入学試験・飛び入学試験

選考は、筆記試験及び面接試問により行います。筆記試験の試験科目、時間割等の詳細については、各試験形態の試験科目・時間割を参照してください。

※いずれの入学試験においても、本研究科の定める基準点に達した者を合格とするため、試験結果によっては、合格者数が募集人員を満たさない場合があります。

※入学試験は文学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。

※臨床人間学専攻臨床心理学専修のみ１日目の筆記試験により、２日目の面接試問の対象者を選抜します。

（１）－１　一般入学試験（英文学専攻英語教職専修を除く）

①　出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

以下の①～⑨のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者

③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑤ 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者

⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑧ 文部科学大臣が指定した者 (注)

⑨ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 (注)

注意事項

(注) 出願資格のうち、⑧又は⑨に該当し、一般入学試験の受験を希望する場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで申し出て、Ⅰ期入試は 6 月 22 日（月）・Ⅱ期入試は 11 月 16 日（月）まで（いずれも必着）に下記の書類を提出してください。

なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）

・通常の出願書類一式

・その他研究科が必要と認める書類

② 試験科目・時間割

選択する受験科目を出願書類に明記してください。出願時に届け出た受験科目の変更はできません。

試 験 場 ： 駿河台キャンパス

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">日 時
専 攻・専 修</th><th colspan="2">１日目</th><th rowspan="2">２日目</th></tr>
<tr><th>１時限(10：00～11：30)</th><th>２時限(13：00～14：30)</th></tr>
<tr><td>日本文学</td><td></td><td>外 国 語
(英語・独語・仏語のうち１か国語選択)
*辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td><td rowspan="19">面接試問
（面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">英 文 学</td><td>英文学</td><td rowspan="3">英 語</td><td>英文学史</td></tr>
<tr><td>米文学</td><td>米文学史</td></tr>
<tr><td>英語学</td><td>英 語 学</td></tr>
<tr><td>仏 文 学</td><td></td><td>仏 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>独 文 学</td><td></td><td>独 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>演 劇 学</td><td></td><td>英 語 *辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td rowspan="6">史 学</td><td></td><td>英 語 *辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>日本史学</td><td>外 国 語
(英語・独語・仏語・中国語・露語のうち１か国語選択)</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>アジア史</td><td>外 国 語
(英語・独語・仏語・中国語・露語・朝鮮語のうち１か国語選択)</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>西洋史学</td><td>英 語</td><td>専門科目 及び 外国語
(独語・仏語・露語のうち１か国語選択)
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>考 古 学</td><td>外 国 語
(英語・独語・仏語・中国語・露語・のうち１か国語選択)</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地 理 学</td><td>英 語</td><td>Ⅰ期入試 専門科目
(自然地理学分野・人文地理学分野のうちいずれかを選択)
Ⅱ期入試 卒業論文の口頭発表*</td></tr>
<tr><td colspan="2">＊卒業論文の口頭発表は、提出された卒業論文（卒業論文を作成しない場合は、卒業論文に代わる研究レポート等）に関して、一人あたり 20 分にまとめてパワーポイントを用いて発表してください。出願時には、卒業論文等のコピー1 部とレジュメ（Ａ４判２枚程度にまとめたもの）９部提出してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">臨床人間学</td><td>臨床心理学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>現代社会学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>教 育 学</td><td>英 語 *辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
</table>

注意事項

1．面接試問は、臨床人間学専攻臨床心理学専修を除き、受験者全員に行います。なお、その詳細は筆記試験時に指示します。

2．辞書持ち込み可と記載されている専攻・専修以外は辞書の持ち込みを認めません。持ち込み可の場合、辞書は一般的語学辞書１冊のみとします。（専門用語辞典及び電子辞書を用いることは認めません。）

3．外国語試験に母国語を選択することはできません。

（１）－２　一般入学試験（英文学専攻英語教職専修のみ）

英文学専攻英語教職専修の募集はⅡ期入試のみ行います。詳細は次のとおりです。

①　出願資格・入学資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

出願資格

本学文学部 4 年次に在学し、次の①～③の要件を全て満たしている者

① 英語教育職員１種免許状を取得見込みであること。

② 本研究科大学院科目を 12 単位以上修得見込みであること。

③ 文学部卒業時のＧＰＡが 3.0 以上の見込み（出願時 2.8 以上）であること。

入学資格

本研究科が実施する入学試験に合格しても、学部卒業時点において次の①～③の要件を全て満たさない者については、入学を許可しません。

① 英語教育職員１種免許状を取得していること。

② 本研究科大学院科目を 12 単位以上修得していること。

③ 文学部卒業時のＧＰＡが 3.0 以上であること。

②　試験科目・時間割

卒業論文審査及び面接試問

卒業論文審査を行うので、卒業論文等のコピー１部を出願書類として提出してください。

面接試問の詳細は、受験票発送時に指示します。

試 験 場 ： 駿河台キャンパス

日程 / 専攻・専修		１日目	２日目
英文学	英語教職専修		面 接 試 問

（２）外国人留学生入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下の①～④のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(注1)

② 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者

③ 日本において、外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

④ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 (注1) (注2)

※初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。
出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

注意事項

（注 1） 文学研究科博士前期課程・修士課程では、**「学士」若しくはその上位に相当する学位を取得していること、又は 2027 年 3 月 31 日までに取得する見込みであること**が出願要件となります。

（注 2） 出願資格の④に該当するかどうかは大学院事務室（42 ページ参照）にお問い合わせください。該当する場合は出願資格審査が必要となりますので、Ⅰ期入試は 6 月 22 日（月）・Ⅱ期入試は 11 月 16 日（月）まで（いずれも必着）に下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
・通常の出願書類一式
・その他研究科が必要と認める書類

② 臨床人間学専攻教育学専修の出願資格について

１．臨床人間学専攻教育学専修のみ、受験区分により、試験科目が異なります。

【受験区分】

A区分	外国の大学・大学院のみを卒業・修了した者又は卒業・修了見込みの者
B区分	日本の大学・大学院を卒業・修了した者又は卒業・修了見込みの者

２．日本語能力について

日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者（A 区分）は、次の①または②のいずれかを出願資格とする。
ただし、日本の大学・大学院のいずれかを卒業・修了（見込みを含む）した者は免除する。

①「日本留学試験」

Ⅰ期：2024 年度第１回、第２回、2025 年度第１回、第２回「日本留学試験」（日本学生支援機構）の日本語の「聴解・聴読解」「読解」「記述」の合計で 360 点以上

II 期：2024 年度第２回、2025 年度第１回、第２回、2026 年度第１回「日本留学試験」（日本学生支援機構）の日本語の「聴解・聴読解」「読解」「記述」の合計で 360 点以上

②「日本語能力試験」

Ⅰ期：2024 年度第１回、第２回、2025 年度第１回、第２回「日本語能力試験」（国際交流基金、日本国際教育支援協会）のＮ１レベル合格

II 期：2024 年度第２回、2025 年度第１回、第２回、2026 年度第１回「日本語能力試験」（国際交流基金、日本国際教育支援協会）のＮ１レベル合格

＜受験ビザ取得について＞

44 ページを参照のこと。

③ 試験科目・時間割

選択する受験科目を出願書類に明記してください。出願時に届け出た受験科目の変更はできません。

試 験 場 ： 駿河台キャンパス

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">専攻・専修 ＼ 日 時</th><th colspan="2">１日目</th><th rowspan="2">２日目</th></tr>
<tr><th>１時限(10：00～11：30)</th><th>２時限(13：00～14：30)</th></tr>
<tr><td>日本文学</td><td colspan="2"></td><td>日 本 語</td><td>専門科目</td><td rowspan="16">面接試問
（面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">英 文 学</td><td>英 文 学</td><td rowspan="3">英 語</td><td>英文学史</td></tr>
<tr><td>米 文 学</td><td>米文学史</td></tr>
<tr><td>英 語 学</td><td>英 語 学</td></tr>
<tr><td>仏 文 学</td><td colspan="2"></td><td>仏 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>独 文 学</td><td colspan="2"></td><td>独 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>演 劇 学</td><td colspan="2"></td><td>英 語 ＊辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>文芸ﾒﾃﾞｨｱ</td><td colspan="2"></td><td>英 語 ＊辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td rowspan="4">史 学</td><td>日 本 史 学</td><td>な し</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>ア ジ ア 史</td><td>な し</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>西 洋 史 学</td><td>英 語</td><td>専門科目 及び 外国語
（独語・仏語・露語のうち１か国語選択）
＊外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>考 古 学</td><td>な し</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地 理 学</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td>英 語</td><td>Ⅰ期入試 専門科目
（自然地理学分野・人文地理学分野のうちいずれかを選択）
Ⅱ期入試 卒業論文の口頭発表＊</td></tr>
<tr><td colspan="2">＊卒業論文の口頭発表は、提出された卒業論文（卒業論文を作成しない場合は、卒業論文に代わる研究レポート等）に関して、一人あたり 20 分にまとめてパワーポイントを用いて発表してください。出願時には、卒業論文等のコピー1 部とレジュメ（Ａ４判２枚程度にまとめたもの）９部提出してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">臨床人間学</td><td colspan="2">臨床心理学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">現代社会学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学</td><td>Ａ区分</td><td>外国語（英語・日本語のうち１か国語選択）
＊辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>Ｂ区分</td><td>英 語＊辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td></tr>
</table>

注意事項

1．面接試問は、臨床人間学専攻臨床心理学専修を除き、受験者全員に行います。なお、その詳細は筆記試験時に指示します。

2．辞書持ち込み可と記載されている専攻・専修以外は辞書の持ち込みを認めません。持ち込み可の場合、臨床人間学専攻現代社会学専修以外、辞書は一般的語学辞書１冊のみとします。（専門用語辞典及び電子辞書を用いることは認めません。）

3．外国語試験に母国語を選択することはできません。

（３）社会人特別入学試験

①　募集の趣旨

文学研究科博士前期課程の社会人特別入学試験は、さまざまな経験をもつ社会人を対象とし、それぞれの社会経験を学問研究と結びつけながら自らの専門的力量を高めることを目指す人や、専門的な関心に沿った研究を進める意志と意欲のある人を受け入れていきます。

②　募集専攻・専修

史　学　専　攻：日本史学専修、アジア史専修、考古学専修（※西洋史学専修は、募集せず）

臨床人間学専攻：現代社会学専修、教育学専修（※臨床心理学専修は、募集せず）

③　出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

28 歳以上（2027 年 4 月 1 日現在）で、次のいずれかに該当する者
① 大学を卒業した者（卒業見込みは不可）
② 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

④　試験科目・時間割

試 験 場 ：駿河台キャンパス

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">日　時
専攻・専修</th><th colspan="2">１日目</th><th rowspan="2">２日目</th></tr>
<tr><th>１時限（10：00～11：30）</th><th>２時限（13：00～14：30）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">史　学</td><td>日本史学</td><td rowspan="3">小論文</td><td>専門科目</td><td rowspan="5">面接試問
（面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。）</td></tr>
<tr><td>アジア史</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>考古学</td><td>専門科目
（若干の英文読解力を問う問題を含む。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">臨床人間学</td><td>現代社会学</td><td>小論文</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>教　育　学</td><td>小論文</td><td>専門科目
（若干の英文読解力を問う問題を含む。）＊辞書持ち込み可</td></tr>
</table>

注意事項

1．面接試問は受験者全員に行います。なお、その詳細は筆記試験時に指示します。
2．各専攻・専修とも、土曜日や夜間のみで修了できるような別コースは設置していません。一般入学試験等入学者と同様の授業を受講することになります。
3．辞書持ち込み可と記載されている専攻・専修以外は辞書の持ち込みを認めません。持ち込み可の場合、辞書は一般的語学辞書１冊のみとします。（専門用語辞典及び電子辞書を用いることは認めません。）

（４）飛び入学試験　　＊臨床人間学専攻は募集せず

①　出願資格・入学資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

出願資格

大学 3 年次に在学し、次の(①～④)の条件を全て満たしている者

① 2 年次終了時点において卒業要件単位を 70 単位以上修得している者

② 上記単位のうち 80 パーセント以上が 80 点以上と同等の評価である者

③ 卒業論文に相当する論文（400 字詰原稿用紙で 80 枚程度）を作成・提出し、本研究科において優秀と判定された者

④ 所属する大学の演習担当者の推薦書を提出できる者

入学資格

本研究科が実施する入学試験に合格しても、3 年次終了時点において次の①②の要件をいずれも満たさない者については、入学を許可しません。

① 3 年次終了時点において卒業要件単位を、希望する専攻・専修で指定する科目を含めて 100 単位以上修得している者（指定科目名については大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせること。）

② 上記単位のうち 80 パーセント以上が 80 点以上と同等の評価である者

②　試験科目・時間割

選択する受験科目を出願書類に明記してください。出願時に届け出た受験科目の変更はできません。

試 験 場：駿河台キャンパス

<table>
<tr><th colspan="2">日　時
専攻・専修</th><th colspan="2">１日目</th><th rowspan="2">２日目</th></tr>
<tr><th colspan="2"></th><th>１時限（10：00～11：30）</th><th>２時限（13：00～14：30）</th></tr>
<tr><td colspan="2">日本文学</td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語のうち１か国語選択）</td><td>小 論 文</td><td rowspan="11">面接試問

（面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">英 文 学</td><td>英　語</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td colspan="2">仏 文 学</td><td>仏　語</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td colspan="2">独 文 学</td><td>独　語</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td colspan="2">演 劇 学</td><td>英　語</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td colspan="2">文芸ﾒﾃﾞｨｱ</td><td>英　語</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td rowspan="4">史　　学</td><td>日本史学</td><td rowspan="2">外 国 語
（英語・独語・仏語・中国語・露語のうち１か国語選択）</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td>アジア史</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td>西洋史学</td><td>英　語</td><td>小論文 及び 外国語
（独語・仏語・露語のうち１か国語選択）
＊外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>考古学</td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語・中国語・露語のうち１か国語選択）</td><td>小 論 文</td></tr>
<tr><td colspan="2">地 理 学</td><td>英　語</td><td>小 論 文</td></tr>
</table>

注意事項

1．　面接試問は受験者全員に行います。なお、その詳細は筆記試験時に指示します。

2．　辞書持ち込みと記載されている専攻・専修以外は辞書の持ち込みを認めません。持ち込み可の場合、辞書は一般的語学辞書１冊のみとします。（専門用語辞典及び電子辞書を用いることは認めません。）

3．外国語試験に母国語を選択することはできません。

博士後期課程

① 募集人員

専　攻	専　修	募集人員
日本文学		2
英　文　学		2
仏　文　学		2
独　文　学		2
演　劇　学		1
史　　学	日本史学専修 アジア史専修 西洋史学専修 考古学専修	6
地　理　学		2
臨床人間学	臨床心理学専修	2
	現代社会学専修	1
	教育学専修	1

② 選考方法

【第１次試験（修士論文審査）について】

本学文学研究科博士前期課程同一専攻修了者（修了見込者）は免除します。
他大学大学院及び本学他研究科（専攻変更を含む）からの志願者は、修士論文審査を第１次試験とし、受験票の送付をもって、第１次試験に合格したものとします。

【第２次試験　（筆記試験及び面接試問）について】

第２次試験は、第１次試験合格者のみ行います。
選考は、筆記試験及び面接試問により行います。筆記試験の試験科目、時間割等の詳細については、各試験形態の試験科目・時間割を参照してください。

※いずれの入学試験においても、本研究科の定める基準点に達した者を合格とするため、試験結果によっては、合格者数が募集人員を満たさない場合があります。

※入学試験は文学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。

（１）一般入学試験

①　出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

以下の①～⑧のいずれかに該当する者
① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
④ 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
⑥ 外国の学校、④の教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者 (注1)
⑦ 文部科学大臣が指定した者 (注1) (注2)
⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者 (注1) (注2)

注意事項

（注　1）出願資格のうち、⑥、⑦又は⑧に該当し、一般入学試験の受験を希望する場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで申し出て、11 月 16 日（月）まで（必着）に下記の書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで、受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】
- 「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- 通常の出願書類一式
- その他研究科が必要と認める書類

（注　2）大学を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。あるいは、外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

② 試験科目・時間割

選択する受験科目を出願書類に明記してください。出願時に届け出た受験科目の変更はできません。

試 験 場 ： 駿河台キャンパス

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">日 時
専攻・専修</th><th colspan="2">１日目</th><th rowspan="2">２日目</th></tr>
<tr><th>１時限（10：00～11：30）</th><th>２時限（13：00～14：30）</th></tr>
<tr><td>日本文学</td><td></td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語・中国語・露語のうち１か国語選択） *辞書持ち込み可</td><td>専門科目</td><td rowspan="13">面 接 試 問

（面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。）</td></tr>
<tr><td>英 文 学</td><td></td><td>英 語</td><td>外国語（独語又は仏語）及び専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>仏 文 学</td><td></td><td>仏 語</td><td>外国語（英語又は独語）及び専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>独 文 学</td><td></td><td>独 語</td><td>外国語（英語又は仏語）及び専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>演 劇 学</td><td></td><td>英 語 *辞書持ち込み可</td><td>外国語（独語・仏語・中国語・露語のうち１か国語選択）又は専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td rowspan="4">史 学</td><td>日本史学</td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語・中国語・露語・朝鮮語のうち１か国語選択） *辞書持ち込み可</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>アジア史</td><td>外 国 語
（英語・中国語・朝鮮語のうち１か国語選択）
*辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>西洋史学</td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語・露語のうち１か国語選択） *辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>考 古 学</td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語・中国語・露語・朝鮮語のうち１か国語選択） *辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>地 理 学</td><td></td><td>英 語</td></tr>
<tr><td rowspan="3">臨床人間学</td><td>臨床心理学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>現代社会学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>教 育 学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
</table>

注意事項

1．面接試問は受験者全員に行います。なお、その詳細は筆記試験時に指示します。

2．辞書持ち込み可と記載されている専攻・専修以外は辞書の持ち込みを認めません。持ち込み可の場合、辞書は、一般的語学辞書１冊のみとします。（専門用語辞典及び電子辞書を用いることは認めません。）

3．外国語試験に母国語を選択することはできません。

（２） 外国人留学生入学試験

① 出願資格

出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（42 ページ参照）まで問い合わせてください。

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～③のいずれかに該当する者

① 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者

② 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、日本の大学院において外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者

③ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者 (注1)

※初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。
出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格審査を受けてください。

注意事項

(注) 出願資格の③に該当するかどうかは大学院事務室（42 ページ参照）にお問い合わせください。該当する場合は出願資格審査が必要となりますので、下記の書類を 11 月 16 日（月）まで（必着）に提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで、受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。

【出願資格審査に必要な書類】

・「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
・通常の出願書類一式
・その他研究科が必要と認める書類

＜受験ビザ取得について＞

44 ページを参照のこと。

② 試験科目・時間割

選択する受験科目を出願書類に明記してください。出願時に届け出た受験科目の変更はできません。

試 験 場 ： 駿河台キャンパス

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">日 時
専攻・専修</th><th colspan="2">１日目</th><th rowspan="2">２日目</th></tr>
<tr><th>１時限 （10：00～11：30）</th><th>２時限 （13：00～14：30）</th></tr>
<tr><td>日 本 文 学</td><td></td><td>日 本 語</td><td>専門科目</td><td rowspan="11">面接試問

（面接試問の詳細は、筆記試験時に指示します。）</td></tr>
<tr><td>英 文 学</td><td></td><td>英 語</td><td>外国語（独語又は仏語）及び専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>仏 文 学</td><td></td><td>仏 語</td><td>外国語（英語又は独語）及び専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>独 文 学</td><td></td><td>独 語</td><td>外国語（英語又は仏語）及び専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>演 劇 学</td><td></td><td>英 語 *辞書持ち込み可</td><td>外国語（独語・仏語・中国語・露語のうち１か国語選択）又は専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td rowspan="4">史 学</td><td>日 本 史 学</td><td>日本語による専門科目</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>ア ジ ア 史</td><td>外国語（英語・中国語・朝鮮語のうち１か国語選択）又は
日本語による専門科目
*外国語は辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>西 洋 史 学</td><td>外 国 語
（英語・独語・仏語・露語のうち１か国語選択） *辞書持ち込み可</td></tr>
<tr><td>考 古 学</td><td>日本語による専門科目</td></tr>
<tr><td>地 理 学</td><td></td><td>日本語による専門科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">臨床人間学</td><td>臨床心理学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
<tr><td>現代社会学</td><td>英 語</td><td>専門科目
＊日本語辞書持ち込み可（漢和辞典を含む。冊数制限なし。ただし電子辞書は不可）</td></tr>
<tr><td>教 育 学</td><td>英 語</td><td>専門科目</td></tr>
</table>

注意事項

1．面接試問は、受験者全員に行います。なお、その詳細は筆記試験時に指示します。

2．辞書持ち込み可と記載されている専攻・専修以外は辞書の持ち込みを認めません。持ち込み可の場合、臨床人間学専攻現代社会学専修以外、辞書は一般的語学辞書１冊のみとします。（専門用語辞典及び電子辞書を用いることは認めません。）

3．外国語試験に母国語を選択することはできません。

３．出願書類一覧

出願書類の記入方法は、26 ページからの「⑵出願書類の記入方法」を参照してください。

博士前期課程･修士課程

※ 一般・社会人特別・飛び入学試験志願者であっても、日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く。）は、外国人留学生入学試験と同じ書類を提出してください。
※ 出願資格審査を受ける必要のある者（＊募集要項 11、14 ページ参照）は、「出願資格審査申請書」をダウンロードして、必要事項を記入の上、出願書類と一緒に提出してください。

入試種別	提出書類	指定書式をﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ	自分で用意	26 ページからの記入方法の番号
一　般	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書（５部）		○	⑥
	卒業（見込）・修了（見込）証明書		○	⑧
	成績証明書		○	⑧
	卒業論文等のコピー（１部）		英語教職専修・地理学専攻Ⅱ期志願者のみ	⑮
	卒業論文等に関するレジュメ（９部）		地理学専攻Ⅱ期志願者のみ	⑯
	出願書類チェックリスト	○		⑰
外国人留学生	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書（外国籍用）	○		②、⑤
	研究計画書（５部）		○	⑥
	卒業（見込）・修了（見込）証明書（学位取得証明書提出者は不要）		○	⑧
	成績証明書		○	⑧
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑨
	経費支弁方法計画書	○		⑩
	パスポートのコピー		○	⑪
	在留カード（特定在留カード）の表面・裏面コピー		○	⑫
	日本留学試験・日本語能力試験関係書類 ※30 ページ参照（A区分の志願者のみ）		○	⑭
	卒業論文等のコピー（１部）		英語教職専修・地理学専攻Ⅱ期志願者のみ	⑮
	卒業論文等に関するレジュメ（９部）		地理学専攻Ⅱ期志願者のみ	⑯
	出願書類チェックリスト（外国人留学生入試志願者用）	○		⑰
	写真１枚及び海外送付先住所を記したメモ ※「受験許可証」発行希望者のみ、詳細は 44 ページ参照		○	
社会人特別（史学専攻日本史学専修、アジア史専修、考古学専修と臨床人間学専攻現代社会学専修、教育学専修のみ）	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書（５部）		○	⑥
	卒業・修了証明書		○	⑧
	成績証明書		○	⑧
	出願書類チェックリスト	○		⑰
飛び入試（臨床人間学専攻は行いません。）	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書（５部）		○	⑥
	成績証明書		○	⑧
	出願書類チェックリスト	○		⑰

博士後期課程

※ 一般入学試験志願者であっても、日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く。）は、外国人留学生入学試験と同じ書類を提出してください。
※ 出願資格審査を受ける必要のある者（＊募集要項20.22ページ参照）は、「出願資格審査申請書」をダウンロードして、必要事項を記入の上、出願書類と一緒に提出してください。

入試種別	提出書類	指定書式をﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ	自分で用意	26 ページからの記入方法の番号
一　般	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書（５部）		○	⑥
	推薦書（他大学大学院又は本学他研究科の志願者のみ）	○	○	⑦
	卒業（見込）・修了（見込）証明書		○	⑧
	成績証明書		○	⑧
	修士論文、研究レポート等 〔他大学大学院又は本学他研究科の志願者及び本学史学専攻出身者（要旨のみ）〕		○	⑬
	出願書類チェックリスト	○		⑰
外国人留学生	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書（外国籍用）	○		②、⑤
	研究計画書（５部）		○	⑥
	推薦書　（他大学大学院又は本学他研究科の志願者のみ）	○	○	⑦
	卒業（見込）・修了（見込）証明書 （学位取得証明書提出者は不要）		○	⑧
	成績証明書		○	⑧
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑨
	経費支弁方法計画書	○		⑩
	パスポートのコピー		○	⑪
	在留カード（特定在留カード）の表面・裏面コピー		○	⑫
	修士論文、研究レポート等 〔他大学大学院又は本学他研究科の志願者及び本学史学専攻出身者（要旨のみ）〕		○	⑬
	出願書類チェックリスト	○		⑰
	写真１枚及び海外送付先住所を記したメモ ※「受験許可証」発行希望者のみ、詳細は44ページ参照		○	

４．出願手続

（１）出願方法

国内出願者：入学検定料納入後、角型２号封筒（240㎜×332㎜）を各自で用意し、封筒表面にダウンロードした出願用宛名用紙を貼付して、郵便局から**[速達・簡易書留郵便]**で郵送してください。研究科により出願先が異なりますので送付先を間違わないよう注意してください。

国外出願者：ＥＭＳやＤＨＬ等、速達で配達状況が確認可能な国際郵便又は国際宅配便で送付してください。各出願期間の最終日必着とします。送付にかかる日数を十分考慮し、余裕をもって発送してください。また出願書類の提出にあたっては、できる限り日本に在住する代理人が、出願書類を郵送してください。

※注意事項

⑴ 出願書類の受付は、すべて郵送に限ります。出願資格を満たしていない者の出願書類は受理しません。

⑵ いったん提出された書類は、返還、差し替えはできません。

⑶ 出願書類に疑義がある場合、志願者へ追加資料の提出を求めることがあります。また、志願者以外が作成した書類（証明書等）に疑義がある場合、本学から関係機関へ照会することがあります。

⑷ 出願書類に関して偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。また、当該年度における本学のすべての入学試験の受験を認めません。すでに合格した本学の当該年度入学試験がある場合は合格を取り消し、入学していた場合は入学を取り消します。なお、この取り扱いに伴う入学検定料、学費等の返還は一切行いません。不正行為が認められた場合、警察等の公的機関に、被害届を提出する等の対応を取る場合があります。

（２）出願書類の記入方法

記入上の注意

１ **黒のボールペン（消せるボールペン不可）を使用し、楷書で丁寧に記入してください。**

２ ※印欄は記入しないでください。

３ Ｂ～Ｄ票（検定料振込用紙）は切り離さず記入してください。

４ 年号は西暦を使用してください。

提　出　書　類
①　Ａ票（入学試験志願票・受験票）
31 ページの「Ａ票の記入方法」を参照の上、記入してください。
②　カラー写真
出願前３か月以内に撮影したカラー写真（４㎝×３㎝）２枚（同一写真）をＡ票（入学試験志願票）と入学志願書に貼付してください。 ア　光沢仕上げ、正面、上半身、脱帽、背景及び枠なし。（スナップ写真・カラープリンター出力写真は不可です。） イ　画像を写真アプリ等で加工していないこと（人物切り抜き加工も不可）、また不鮮明なものや、髪や影で目元輪郭を隠している等、個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 ウ　受験時に眼鏡着用の者は、眼鏡着用の写真を用意してください。 エ　提出された写真を利用して、入学後、在学期間を通して使用する学生証を作成します。 ※　日本国外から出願する者のうち、受験のための短期滞在のビザを取得するため、本学の受験許可証の発行を希望する者は、この他に同一の写真１枚（４㎝×３㎝）が必要となります。（44 ページ「13. ビザ（査証）について」を参照）

③　B票（振込連絡票）

ア　検定料振込用紙のB票（振込連絡票）は、検定料納入後、**金融機関の収納印が押されていること**、又は**収納証明書が貼付されていること**を**確認**し、送付してください。

イ　課程・研究科・専攻・専修・氏名（フリガナ）を間違いなく記入してください。

※　詳細については、37 ページ「（3）入学検定料の納入」を参照してください。なお、海外送金を希望する者は、別途、大学院事務室に連絡してください。

提　出　書　類

④　入学志願書

※　日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く。）は、必ず外国籍用の入学志願書〔⑤入学志願書（外国籍用）を参照〕を使用してください。

ア　課程・研究科・専攻・専修を間違いなく記入してください。

イ　カラー写真を貼付してください。

ウ　緊急連絡先は、昼間、確実に連絡がとれる方の氏名・間柄・電話番号（携帯電話番号可）を記入してください。

エ　希望指導教員名欄は、「研究指導担当教員一覧表」を参照の上、正確に記入してください。
※博士前期課程臨床人間学専攻臨床心理学専修の志願者は記入しないでください。指導教員は入学後に決定します。
また、博士後期課程を志望する者で、本学の博士前期課程修了、又は修了見込みで、同一研究科、同一専攻の博士後期課程を志願する者は、希望指導教員の受験許可印をもらってください。

オ　研究テーマ欄は入学後の研究テーマを記入してください。

カ　学歴欄は出身（見込みを含む）大学等、すべて記入してください。年号は西暦を使用してください。
科目等履修生・研究生・聴講生等もすべて記入してください。

キ　卒業・修士論文題名欄で、卒業・修士論文のない者は欄に斜線を入れてください。修士論文に代えてリサーチ・ペーパー等を提出した者は、その旨を明記した上、題名を記入してください。

ク　職歴にアルバイトは含みません。ただし、研究と関連するアルバイトの場合は記入してください。

⑤　入学志願書（外国籍用）

ア　課程・研究科・専攻・専修を間違いなく記入してください。

イ　カラー写真を貼付してください。

ウ　緊急連絡先は、昼間、確実に連絡がとれる方の氏名・間柄・電話番号（携帯電話番号可）を記入してください。
海外在住の留学生は、志願者についてよく知っている人物で日本在住の方の氏名・電話番号を記入してください。

エ　希望指導教員名欄は、「研究指導担当教員一覧表」を参照の上、正確に記入してください。
※博士前期課程臨床人間学専攻臨床心理学専修の志願者は記入しないでください。指導教員は入学後に決定します。
また、博士後期課程を志望する者で、本学の博士前期課程修了、又は修了見込みで、同一研究科、同一専攻の博士後期課程を志願する者は、希望指導教員の受験許可印をもらってください。

オ　研究テーマ欄は入学後の研究テーマを記入してください。

カ　学歴欄は小学校入学から出身大学等（卒業・修了見込みも含む）、日本語学校在学歴も含み、すべて記入してください。科目等履修生・研究生・聴講生等もすべて記入してください。（ダブルディグリー制度を利用している場合：正規の就学年数には本来、卒業・修了までにかかる年数を記入し、在学年数には、実際に通う年数を記入してください。＊記入見本参照）

キ　卒業・修士論文題名欄で、卒業・修士論文のない者は欄に斜線を入れてください。修士論文に代えてリサーチ・ペーパー等を提出した者は、その旨を明記した上、題名を記入してください。

ク　職歴にアルバイトは含みません。ただし、研究と関連するアルバイトの場合は記入してください。

ケ　日本国外からの出願者（特別永住者は除く）は、受験許可証の要・不要のいずれかを〇で囲んでください。
（44 ページ「13. ビザ（査証）について」を参照）
【査証免除国(外務省 HP 参考)： https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/novisa.html】
※　明治大学から交付された「受験許可証」により在外日本国公館（大使館・領事館）でビザ申請手続きを行った場合でも、必ず許可されるとは限りません。

⑥ 研究計画書

作成にあたっては、以下の入試形態別の指示に従い、**5 部作成してください。**

＜博士前期課程・修士課程（史学専攻、臨床人間学専攻臨床心理学専修を除く。）及び博士後期課程（全専攻）の志願者＞

専攻・専修名、氏名(フリガナ)、希望指導教員名、将来の志望進路を明記した上、入学後の研究計画（A4 判、1500 字程度）を具体的に記述してください。

＜博士前期課程史学専攻の志願者＞

専攻・専修名、氏名(フリガナ)、希望指導教員名、将来の志望進路を明記した表紙をつけて、入学後の研究計画（A4 判、4000 字程度）を具体的に記述し、この他に関係する文献目録を添付してください。（文献目録は字数に含まない。）

＜博士前期課程臨床人間学専攻臨床心理学専修の志願者＞

専攻・専修名、氏名(フリガナ)、将来の志望進路を明記した上、入学後の研究計画（A4 判、1500 字程度）を具体的に記述してください。

提 出 書 類

⑦ 推薦書（博士後期課程志願者のみ）

他大学大学院又は本学他研究科（専攻変更を含む）からの志願者で、博士後期課程志願者は、出身大学の学長又は担当教員等による推薦書を以下のとおり提出してください。なお、書式は自由とし、日本語又は英語で記載してください。

【必須項目】

ア 推薦者の所属大学名
イ 推薦者の肩書
ウ 推薦者と志願者の関係
エ 日付
オ 署名

※ 必要に応じ、参考書式を Web サイトからダウンロードして御利用ください。

⑧ 卒業(見込)・修了(見込)証明書・成績証明書

ア **すべての出身大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）証明書・成績証明書の原本を提出してください。**

イ **氏名及び生年月日、入学年月、卒業（修了）年月の記載が必須となります。**

ウ **外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、成績証明書及び「⑨学位取得証明書」を提出してください。（卒業・修了証明書は不要です。）**

エ **外国の大学･大学院出身者は、出身大学が発行する英語又は日本語による証明書の原本を提出してください。**やむを得ず、それ以外の言語で作成されたものしか提出できない場合は、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館、公証処等の公的機関が証明した、日本語の訳文の原本を、証明書原本もしくはCertified true copy に添付してください。詳細は、35 ページ「参考 外国の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業（見込）・修了（見込）証明書について」を参照してください。

オ 編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。

カ ダブルディグリー制度により２つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として**双方の大学の証明書を提出**してください。

キ 科目等履修生・研究生・聴講生等も「在学証明書」と「成績証明書」の原本を提出してください。

ク 博士後期課程志願者のうち、明治大学大学院博士前期課程・修士課程修了者、修了見込者（専門職大学院修了・修了見込者を除く）は、学部の卒業・成績証明書は必要ありません。明治大学大学院博士前期課程・修士課程の修了（見込）証明書及び成績証明書のみ提出してください。

ケ 退学、除籍者は、それがわかる証明書を提出してください。

（注1）婚姻等の事由により戸籍と証明書の氏名が異なる場合、戸籍抄本を添付してください。

（注2）中国国内の教育機関の卒業（見込）・修了(見込)者へ（35ページ参照）

成績証明書は、以下①のほか、②・③のいずれかの証明書を提出してください。

①「出身大学が発行する証明書（英語又は日本語)」の提出

②中国『中国高等教育学生信息網（CHSI)』からメールで明治大学大学院に直送される英文の「Verification Report of Higher Education Student’s Academic Transcript」

※Online Verification Report ではありません。

③『CHSI 中国学歴・学籍認証センター日本代理機構』から明治大学大学院に直送される英文証明書又はメールで直送される英文の「Verification Report of China Higher Education Student’s Academic Transcript」

中国の CHSI 又は CHSI 日本代理機構から明治大学大学院に直送されたもののみを有効とします。

・申請には所定の手数料が必要です。（詳細については、ホームページで確認してください。）

・申請の際は、英語による証明を請求してください。（英語以外の認証書は受理しません。）

・申請から発行までには時間がかかります。出願期間に間に合うよう、Ⅰ期入試は６月中に、Ⅱ期入試は１１月中には手続きを開始するようにしてください。

【参考】（中国の CHSI）⇒ https://www.chsi.com.cn/en/pvr/　（CHSI 日本代理機構）⇒http://www.chsi.jp/

提　出　書　類

⑨　学位取得（見込）証明書〔外国の大学・大学院を卒業（見込）・修了（見込）者のみ〕

ア　**氏名及び生年月日、入学年月、卒業（修了）年月の記載が必須となります。**

イ　**外国の大学・大学院を卒業・修了した者**は35ページ「参考　外国の教育機関を卒業(見込)・修了（見込）の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業（見込）・修了（見込）証明書について」を参照のうえ、出身大学・大学院の発行する英語又は日本語の学位取得（見込）証明書（原本）を提出してください。**中国国内の教育機関の卒業者・修了者は、CHSI の発行する電子認証報告が必要です。**

ウ　出願時において、卒業見込・修了見込の者は、出身大学・大学院が発行する英語又は日本語の「学位取得見込証明書（原本)」に加え、⑧の「卒業見込・修了見込証明書（原本)」を提出してください。（卒業・修了後は、速やかに既卒業者・修了者と同じ手続きをしてください。）

エ　学位を取得していない場合は、事前の出願資格審査が必要となる場合がありますので、大学院事務室（42 ページ参照）に早めに問い合わせてください。

⑩　経費支弁方法計画書〔日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）のみ〕

ア　課程・研究科・専攻等を間違いなく記入してください。

イ　本学に留学する際に必要な学費・生活費の支弁方法について記載してください。合計額が１年間の学費（45 ページ参照）・生活費を十分賄える額になるように、記入してください。

ウ　１年間の学費については、45 ページ「14. 入学諸費用等について」を参照してください。

エ　本学進学のために在留資格を取得又は更新する際に、出入国在留管理局に在留中の経費支弁を証明する書類の提出が必要です。提出できない場合、在留資格が発給されない可能性もありますので、経費支弁について十分計画した上で、出願してください。

⑪　パスポートのコピー〔日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）のみ〕

「氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページ」のコピーを提出してください。

⑫ 在留カード（特定在留カード）の表面・裏面コピー〔日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）のみ〕

在留カード（特定在留カード）**の表面と裏面両方のコピーを提出してください。**
出願時点で在留カード（特定在留カード）**を更新中の場合は、「出願書類チェックリスト」の備考欄に申請日を記入し、更新でき次第、更新後の在留カード**（特定在留カード）**の表面と裏面両方のコピーを提出してください。**
なお、特定在留カードのコピーを提出する際は、マイナンバー記載部分は必ず隠してからコピーしてください。

⑬ 修士論文、研究レポート等（博士後期課程志願者のみ）

博士後期課程志願者は以下に従い、「修士論文」（写し）及び「要旨」を提出してください。必ずそれぞれ表紙を作成し、題名・研究科名・専攻名・専修名・希望指導教員名・氏名を明記した上で、提出してください。修士論文を作成していない者については、修士論文に代わる「リサーチ・ペーパー」「研究報告書」等を提出してください。なお、「修士論文」（写し）及び「要旨」の提出は**2027 年 1 月 12 日（火）必着まで**認めます。修士論文、要旨等のみ提出が遅れる場合については、他の出願書類と一緒に、その旨を記載したメモを送ってください。

●修士論文（又はそれに代わるもの）・要旨の提出対象者・提出部数

① **本学文学研究科からの志願者**
＊史学専攻以外：修士論文－不要、要旨－不要　＊史学専攻：修士論文－不要、要旨－5 部

② **他大学大学院、本学他研究科及び本学文学研究科他専攻からの志願者（修了見込者は合否判定前の修士論文・要旨でも可）**
＊史学専攻以外：修士論文－1 部、要旨－3 部　＊史学専攻：修士論文－1 部、要旨－5 部

※ 史学専攻の要旨は、A4 判 2000～4000 字程度（論文目次も含む）で作成してください。また、他に印刷公表された論文がある場合は、その要旨も 5 部提出してください。

提　出　書　類

⑭日本留学試験「日本語」科目の『成績確認書（通知書）』、日本語能力試験（Ｎ１）の『合否結果通知書』

（博士前期課程臨床人間学専攻教育学専修外国人留学生Ａ区分入学試験志願者のみ）

ア 日本の大学・大学院を卒業・修了せずに外国の大学又は大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者（A 区分）は、日本学生支援機構実施の日本留学試験の「日本語」科目の『成績確認書（通知書）』の原本、国際交流基金、日本国際教育支援協会実施の日本語能力試験の N1 レベルの「合否結果通知書」又は「認定書」の原本と写し、若しくは「認定結果及び成績に関する証明書」の原本）を提出してください。
イ 詳しくは、14 ページ②「2. 日本語能力について」を参照してください。
ウ 提出された成績のうち、「合否結果通知書」「認定書」の原本は試験当日までに返却します。（「認定結果及び成績に関する証明書」については返却しません。）

⑮ 卒業論文等のコピー（博士前期課程英文学専攻英語教職専修及び地理学専攻Ⅱ期志願者のみ）

博士前期課程英文学専攻英語教職専修及び地理学専攻Ⅱ期志願者は、卒業論文のコピーを１部提出してください。
なお、**地理学専攻Ⅱ期志願者のうち、卒業論文を作成しない場合**は、卒業論文に代わる研究レポート（ゼミ共同研究論文でも可）を作成し、指導教員あるいは指導を受けている教員の署名・捺印を得て、提出してください。

⑯　卒業論文等に関するレジュメ（博士前期課程地理学専攻Ⅱ期志願者のみ）

博士前期課程地理学専攻Ⅱ期志願者は、入学試験時に卒業論文の口頭発表を行っていただきます。提出した卒業論文（卒業論文を作成しない場合は、卒業論文に代わる研究レポート等）に関して、一人あたり 20 分にまとめてパワーポイントを用いて発表してください。

出願時には、卒業論文等のコピー（上記⑮）に加えて、口頭発表用に**レジュメ（A4 判 2 枚程度にまとめたもの）を 9 部提出してください。**

⑰　出願書類チェックリスト

提出した書類はすべて提出欄にチェックして提出してください。

A票の記入方法

課　　程	博士前期・博士後期・修士のいずれかを〇で囲んでください。 ※文芸メディア専攻志願者は「修士」を選択してください。
研究科、 専攻、専修	間違えのないように記入してください。
研究科コード	該当する４桁の数字を次から選び、記入してください。

研究科	専攻・専修	博士前期課程・修士課程コード	博士後期課程コード
文　学	日本文学	4411	5411
	英文学	4422	5422
	仏文学	4433	5433
	独文学	4444	5444
	演劇学	4455	5455
	文芸メディア	4490	
	史　学	4466	5466
	地理学	4477	5477
	臨床人間学（臨床心理学）	4483	5483
	臨床人間学（現代社会学）	4485	5485
	臨床人間学（教　育　学）	4486	5486

氏　　名	戸籍、住民票に記載の氏名を楷書で記入してください。 外国人留学生の方は、住民票又はパスポートと同一の綴りのアルファベット（大文字）氏名［姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に］を記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。
生年月日	西暦で記入し、月日が１桁の場合は、十の位に０をつけて記入してください。
性　　別	男「M」、 女「F」のいずれかを〇で囲んでください。
住　　所 **（受験票送付先）**	日本国内の住所を記入してください。本人が日本国内にいない場合は、 代理人や代理機関の住所・名前を記入してください。**受験票・入学手続書類の送付先になります。**また、出願書類の不明な点を確認する場合にも使用するので、迅速かつ確実に連絡がとれる宛先を記入し、誤記や不備のないよう十分注意してください。 ＊「丁目」「番地」「号」などはハイフン「－」でつないで記入してください。 ＊電話番号は左づめにし、局番の区切りはハイフン「－」を記入してください。（原則、携帯電話番号を記入してください。）
カラー写真貼付欄	剥がれないようにしっかり貼付してください。
最終出身大学 最終出身大学院	最終出身校を記入してください。 博士後期課程受験者は、大学・大学院ともに記入してください。

卒業年月 修了年月	西暦で記入し、次のいずれかの数字を○で囲んでください。 1　卒業見込、修了見込　　2　卒業、修了
本学・他大学	出身大学（大学院）について、次のいずれかの数字を○で囲んでください。 1　明治大学　　0　他大学
大学種類	大学種類について次の番号から選び、記入してください。 飛び入試受験者は「5　その他」を選択してください。 1　国立（日本）　2　公立（日本）　3　私立（日本）　4　外国　5　その他
現　職	現在の職業について、会社名及び就業年月を記入してください。
職　種	現在の職業について、職種を次から選び、その２桁の数字を記入してください。 01 営業　06 設計　11 一般事務 02 経理　07 生産技術　12 システムエンジニア 03 調査企画　08 生産管理　13 教員 04 人事労務　09 施工　20 その他 05 研究開発　10 商品企画
業　種	現在の職業について、業種を次から選び、その２桁の数字を記入してください。 01 製造業 （食料品、 衣服、 木製品、 化学工業製品、 ガラス製品、 金属製品、 機械器具製品等） 02 出版・印刷・放送・広告 （新聞業、 出版業、 印刷業、 広告代理店、 テレビ局） 03 電気・ガス・熱供給・水道業 （電気、 ガス、 熱を媒体とするエネルギー、 水道） 04 運輸・通信業 （鉄道業、 道路旅客運送業、 旅行業、 通信業） 05 卸売業 （総合商社、 一般商社） 06 小売業 （百貨店、 スーパー、 飲食店、 自動車、 家電製品、 医薬品等） 07 金融業 （銀行、 信用金庫、 証券業、 生命保険、 損害保険） 08 教育 （小・中・高等学校、 大学、 教育機関、 予備校） 09 サービス業 （ニュース供給業、 法律・公認会計士・税理士事務所、経営コンサルタント、ホテル、娯楽施設） 10 医療・保健業 （病院、 保健衛生、 廃棄物処理業） 11 非営利団体 （社会保険、 学術研究機関、 政治・経済団体） 12 公務 （国家公務、 地方公務） 20 その他
指導教員名	「研究指導担当教員一覧表」を参照の上、**第一希望欄に**希望する教員名を正確に記入してください。第二希望欄は斜線を引いてください。 **ただし、博士前期課程臨床人間学専攻臨床心理学専修の志願者は記入しないでください。指導教員は入学後に決定します。**
筆記試験受験科目	筆記試験受験科目を記入してください。面接試問は記入しないでください。**選択する受験科目を明記してください。なお、出願時に届け出た科目は変更できません。** （記入例１）　１時限　外国語（英語）　２時限　専門科目 （記入例２）　１時限　英語　２時限　専門科目及び露語 （記入例３）　１時限　英語　２時限　自然地理学
最終学生番号	明治大学出身者のみ 10 桁の学生番号を記入してください。
入学形態１	次の記号から選び記入してください。 F　一般入試　H　社会人特別入試　K　再入学入試 G　外国人留学生入試　J　飛び入学入試

入学形態２	外国籍の受験者でビザの種類が「留学」の場合、１「私費」、２「国費」のどちらかを〇で囲んでください。
入学形態３	入学形態１で「H 社会人特別入試」の場合、次の番号から選び記入してください。 １　派遣　２　休職　３　無職　４　その他
区　分	区分を次の番号から選び記入してください。 １　卒業見込、修了見込 ２　学部３年生から ３　社会人（入学のため休職予定） ４　社会人（企業派遣） ５　社会人（入学のため退職予定） ６　社会人（在職その他〈主婦・定年退職者も含む〉） ７　その他（大学以外の教育機関・無職・浪人も含む）
学　費	該当のコードを次から選び、その２桁を記入してください。 （博士前期課程・修士課程）　01　他大学卒業者　71　明治大学卒業者 （博士後期課程）　01　他大学卒業→他大学院修了者 71　明治大学大学院修了者 72　明治大学卒業→他大学院修了者
実施期	次の番号から選び記入してください。 １　2026 年 12 月以前の入学試験受験者 ２　2027 年１月以降の入学試験受験者
奨学金	記入不要
国・地域	外国籍の受験者は、次頁を参照し、国・地域とそのコードを記入してください。
入学希望学年	記入不要
受験票　＊点線は切り取らずに提出してください。	
課　程	博士前期・博士後期・修士のいずれかを〇で囲んでください。 ＊文芸メディア専攻志願者は「修士」を選択してください。
研究科、専攻、専修	間違えのないように記入してください。
受験科目	筆記試験受験科目を記入してください。面接試問は記入しないでください。**選択する受験科目を明記してください。なお、出願時に届け出た科目は変更できません。** （記入例１）　１時限　外国語（英語）　２時限　専門科目 （記入例２）　１時限　英語　２時限　専門科目及び露語 （記入例３）　１時限　英語　２時限　自然地理学
氏　名	戸籍、住民票に記載の氏名を楷書で記入してください。 外国人留学生の方は、住民票又はパスポートと同一の綴りのアルファベット（大文字）氏名［姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に］を記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。
受験番号	記入不要

大学取扱者印	記入不要

【 国・地域コード 】

国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード
韓国	201	スリランカ	216	ノルウェー	406	ブラジル	501	エジプト	801
朝鮮	202	モンゴル	217	スイス	407	チリ	502	モロッコ	802
中華人民共和国	203	ブータン	218	オーストリア	408	アルゼンチン	503	タンザニア	803
台湾	204	ミャンマー	219	オランダ	409	ペルー	504	エチオピア	804
マレーシア	205	シンガポール	220	ベルギー	410	ボリビア	505	スーダン	805
インドネシア	206	香港	221	スペイン	411	パラグアイ	506	リビア	806
タイ	207	マカオ	225	トルコ	412	ドミニカ	507	チャド	807
フィリピン	208	アメリカ合衆国	301	ロシア	413	ホンジュラス	508	ナイジェリア	808
ベトナム	209	カナダ	302	クロアチア	414	エルサルバドル	509	その他	999
カンボジア	210	メキシコ	303	エストニア	415	イラン	601		
ラオス	211	イギリス	401	キルギス	416	サウジアラビア	602		
インド	212	ドイツ	402	ウクライナ	417	アラブ首長国連邦	603		
パキスタン	213	フランス	403	ウズベキスタン	418	イスラエル	604		
ネパール	214	イタリア	404	ギリシャ	419	オーストラリア	701		
バングラデシュ	215	スウェーデン	405	ルーマニア	420	ニュージーランド	702		

参考 外国の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業（見込）・修了（見込）証明書について

① 中国国内※の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合　※ 香港，台湾，マカオを除く。

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続きは、中国国内のCHSI（中国高等教育学生信息網）（北京市）もしくはCHSIの日本代理機構・CSSD（教育部学生服务与素质发展中心）において行われます。

Ⅰ　出願時において、卒業見込・修了見込の方

■ 出身大学が発行する以下の①から③の証明書（英語又は日本語）全てを提出してください。

①「学位取得見込証明書」
②「卒業（修了）見込証明書」
③出願締切日から３か月以内の「成績証明書」

■ 出願後に卒業・修了した方は、速やかに「Ⅱ　卒業者・修了者」に記載のものを提出してください。

Ⅱ　卒業者・修了者・・・以下の１と２の両方を提出。

１　学位取得証明書

（１）提出書類　以下の①又は②のいずれか１つ

①『中国高等教育学生信息網（CHSI）』からメールで明治大学大学院に直送される
英文の「Online Verification Report of **Higher Education Degree Certificate**」

②『中国高等教育学生信息網（CHSI）』からメールで明治大学大学院に直送される
中文の「中国高等教育学位在线验证报告」

（２）提出方法・送信先・注意事項

CHSIへ学位取得証明書を申請する際の注意事項

1. 志願者自身がオンライン申請を行い、英文又は中文で学位の認証を受けてください。
2. **電子認証報告メールをCHSI（CSSD）から、明治大学大学院へ直送する手続きをとってください。直送されたもののみを有効とします。志願者本人が受領し、本学へ転送した証明書は無効とします。**　**メール送信先：in_ninsyo@meiji.ac.jp**

【注意】申請から発行までには時間がかかります。出願期間に間に合うよう、遅くともⅠ期入試は６月中、Ⅱ期入試は１１月中に、手続きを開始するようにしてください。

※　なお、出身大学が発行する証明書（英語又は日本語）の提出を求める場合があります。

２　成績証明書

（１）提出書類　以下の①から③のいずれか１つ

①『中国高等教育学生信息網（CHSI）』からメールで明治大学大学院に直送される
英文の「Verification Report of China Higher Education Student’s Academic Transcript」
※　Online Verification Reportではありません。

②『CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構』からメールで明治大学大学院に直送される
英文の「Verification Report of China Higher Education Student’s Academic Transcript」

③『CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構』から明治大学大学院に直送郵送される英文証明書

（２）提出方法・送信先・注意事項

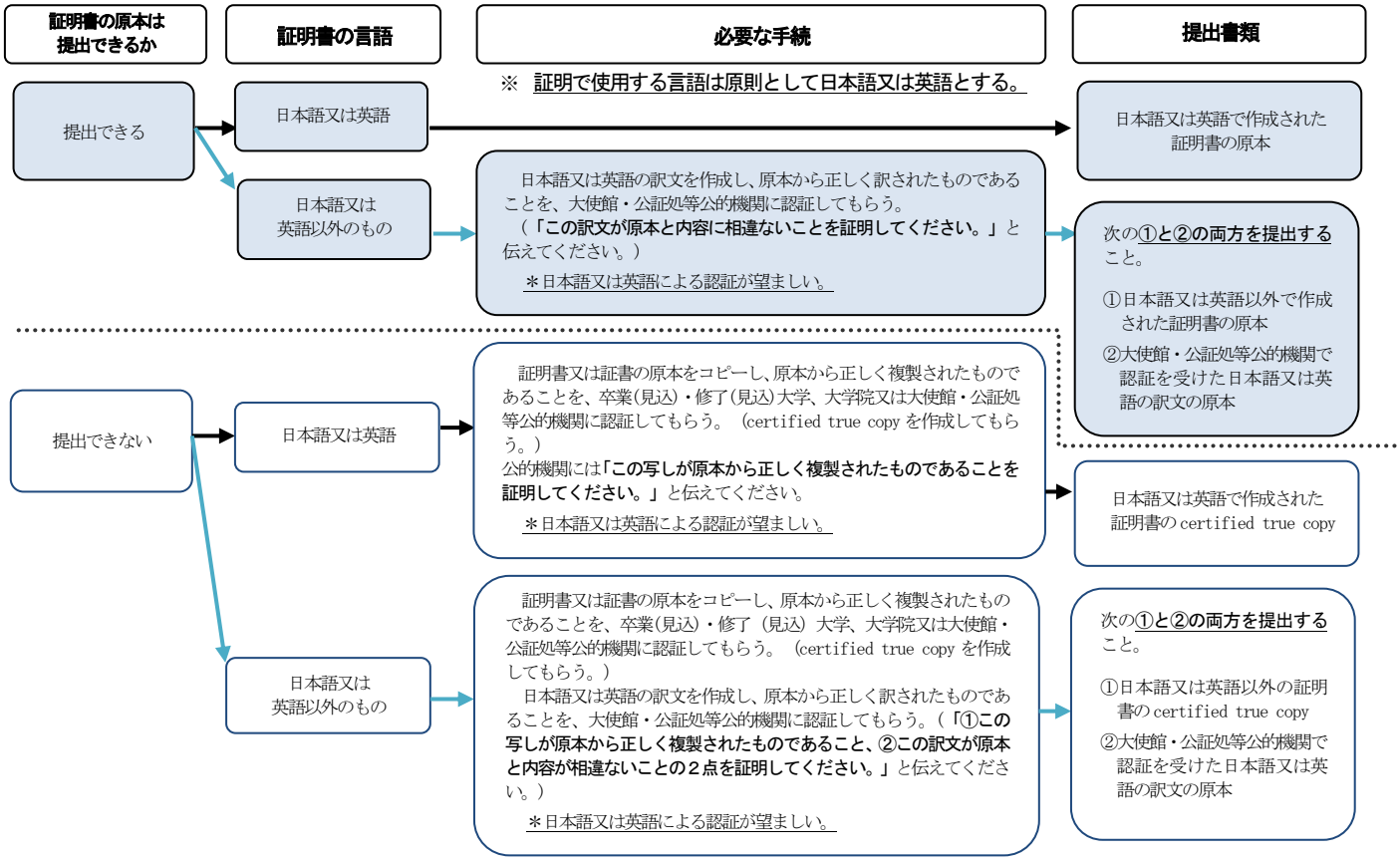
CHSI（・日本代理機構含む）へ成績証明書を申請する際の注意事項

1. 志願者自身がオンライン申請を行い、英文による認証・証明を請求してください（**英文以外は不可**）。
（中国のCHSI）⇒　https://www.chsi.com.cn/en/pvr/　（CHSI日本代理機構）⇒　http://www.chsi.jp/
2. **証明書は発行元から、明治大学大学院へ直送する手続きを取ってください。直送されたもののみを有効とします。志願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。**　**メール送信先：in_ninsyo@meiji.ac.jp**
3. 申請には、所定の手数料が必要です。（詳細については、それぞれのホームページで確認してください。）

【注意】申請から発行までには時間がかかります。出願期間に間に合うよう、遅くともⅠ期入試は６月中、Ⅱ期入試は１１月中に、手続きを開始するようにしてください。

※　なお、出身大学が発行する証明書（英語又は日本語）の提出を求める場合があります。

② ①以外の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合



（３）入学検定料の納入

入学検定料は 35,000 円です。（消費税は課税されません。）

金融機関窓口（ゆうちょ銀行は除く。）あるいは指定のコンビニエンスストアで納入するか、又はクレジットカードで支払いを行ってください。

納入期間・期限については、8 ページの入学試験日程一覧を参照してください。入学検定料は出願期間前にも振り込むことができます。

出願締切日を過ぎた振り込みは無効となりますので、注意してください。

いったん納入した入学検定料は返還いたしません。

１　金融機関から納入する場合　※ゆうちょ銀行は取扱いできません。

① 検定料振込用紙（Ｂ票～Ｄ票）に必要事項を記入後、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。（振り込みは現金に限ります。小切手等の有価証券は不可。またＡＴＭ等は使用しないでください。）振り込みの際、手数料が必要となりますが、検定料振込依頼書（Ｄ票）に記載されている銀行の本支店から振り込む場合は無料です。

なお、Ｄ票の研究科コードにつきましては、31 ページを参照してください。

② 金融機関の窓口から入学検定料を納入後、Ｂ・Ｃ票を受け取り、Ｂ・Ｃ票の２ヶ所に金融機関の収納印が押されていることを、必ず確認してください。収納印がない場合は、入学検定料を納入したことにはなりませんので、十分注意してください。

③ 取扱金融機関の収納印をもって、本学の領収とします。領収書はあらためて発行しませんので大切に保管してください。Ｃ票は、切り離して本人が保管してください。

２　コンビニエンスストアを利用する場合

① 「ローソン」「セブンーイレブン」「ファミリーマート」「ミニストップ」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料支払方法」を参照してください。

なお、コンビニエンスストアでの納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）で御確認ください。

また、入学検定料納入期間以外、利用できません。

② コンビニエンスストアでの納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）で御確認ください。

③ 店頭で支払後に発行される「入学検定料・選考料 取扱明細書」の『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（Ｂ票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。

④ コンビニエンスストアが発行する「領収書」をもって本学の領収とします。

領収書はあらためて発行しませんので、**大切に保管**してください。

⑤ Ｃ票・Ｄ票は出願の際には不要です。

３ クレジットカード・中国決済を利用する場合

① 「ＶＩＳＡ」「マスターカード」「ＪＣＢ」「アメリカンエキスプレス」「銀聯（ユニオンペイ）」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料支払方法」を参照してください。

なお、クレジットカード・中国決済での納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）で御確認ください。

また、入学検定料納入期間以外、利用できません。

② クレジットカード・中国決済での納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）でご確認ください。

③ 支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して『収納証明書』を印刷してください。『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（Ｂ票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。

④「領収書」は発行されません。申込内容照会画面を印刷し、大切に保管してください。なお、クレジットカード・中国決済の明細書には「Ｅ－支払事務局」と記載されます。

⑤ Ｃ票・Ｄ票は出願の際には不要です。

（４）受験及び修学における配慮について

明治大学では、「明治大学障がい学生支援基本方針」に基づき、合理的配慮を実施しています。

心身等に障がいがあり、受験上の配慮を希望する方は、Ⅰ期入試は6月22日(月)・Ⅱ期入試は11月16日(月)までに大学院事務室に申し出てください。

受験生からの申請に基づく審査の上、障がいや疾病等の程度に応じた措置を講じます。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。また、期限までに申し出を行っていない場合は、合理的配慮の性質上、試験当日の配慮が難しい場合があります。

なお、修学上の支援に関しては、入学後に「明治大学生のための障がい学生支援あんない(https://www.meiji.ac.jp/learn-s/sgg/6t5h7p000015yip4-att/20250401meiji_annnai.pdf)」に沿って申請することで実施されます。

５．受験票

(1) 受験票は入学試験の１週間前までに届くよう発送します。受験日の１週間前になっても受験票が届かない場合は、大学院事務室に連絡してください。

(2) 受験票を紛失した場合は、大学院事務室（駿河台キャンパス：グローバルフロント５階）で再発行します。発行手続の時間を考慮し、早めに来校してください。

・再発行には、本人確認のため、写真付身分証明書（マイナンバーカード・運転免許証・パスポート・在留カード（特定在留カード））の提示が必要となります。

・写真付身分証明書をお持ちでない場合は、健康保険資格確認書・年金手帳等を提示していただきます。

６．入学試験当日の注意

(1) 出願手続に不備のなかった対象者には、受験番号を付して受験票を送付します。試験当日は必ず受験票を持参してください。
(2) 筆記試験を始める前に写真照合を行いますので、研究科から指定された時刻までに所定の席で待機してください。
(3) 試験開始後、30 分を過ぎて入室した者の受験は認めません。
(4) 筆記試験場及び集合時刻は、受験票発送の際に通知します。
(5) 面接試問についての詳細は、筆記試験当日に発表します。
(6) 携帯電話・スマートフォン・ウエアラブル端末（スマートウォッチ、スマートグラス等）などは、時計として使用することはできません。他の受験生の迷惑となるので、アラームを設定している人は解除した上で、通信機能や撮影機能がある機器は全て電源を切ってカバンにしまってください。試験中にカバンの中で音が鳴った場合は、監督者が本人の了解を得ずにカバン等を試験場の外に持ち出します。
(7) 不正行為があるとみなされた場合は、それ以降の受験を認めません。

- 試験当日、降雪や事故、台風等による交通機関の混乱が生じた場合、入学試験の実施に関する情報は本研究科ホームページでお知らせします。志願した研究科のページで確認してください。
- 自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験会場の変更及び日程の延期等の措置をとることがあります。なお、このことに伴う受験生の個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
- 自然災害や交通機関の事故・運休・遅延・ストライキ等の不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の負担費用、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。

７．学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験を御遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験を御遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

８．合格発表

(1)　合格発表日時は、8ページ「入学試験日程一覧」を参照してください。
(2)　合格発表はホームページ等により行います。電話や掲示による発表は行っていません。詳細は筆記試験当日に発表します。
(3) 発表と同時に、Ⅰ期入試合格者には合格通知書、Ⅱ期入試合格者には合格証及び入学手続書類を入学志願票（A票）に記入されている住所宛に郵便で送付します。大学での直接交付は行いません。

（注 1）電話等による合否についての問い合わせには一切応じません。
（注 2）Ⅱ期入試の入学手続書類は、合格発表後に発送しますので、地域によっては到着に数日要する場合もあります。
（注 3）合格したにもかかわらず、合格通知書、合格証・入学手続書類が手元に届かない場合は、必ず大学院事務室（42 ページ参照）に連絡してください。
（注 4）**卒業又は修了見込みの者が卒業・修了できなかった場合、合格しても入学を認めません。**

９．入学手続

※入学手続時には保証人に関する書類の提出が必要です。詳細は、「9(3)保証人について」を参照してください。

（１）入学手続書類の送付及び入学手続期限について

入試種別	入学手続書類発送予定日	手続期限
Ⅰ期入試	２０２６年１１月中旬	２０２６年１１月２７日(金)
Ⅱ期入試	Ⅱ期入試合格発表日	２０２７年　３月１０日(水)

（注 1）　A票に記入されている本人住所へ郵送しますので、発送予定時期までに住所等の変更があった場合は、大学院事務室（42 ページ参照）に連絡してください。
（注 2）上記の発送予定日を過ぎても、手続書類が届かない場合は、必ず大学院事務室（42 ページ参照）まで連絡してください。
（注 3）入学手続書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

（２）入学手続について

(1) 入学手続書類にて案内する「入学手続の手引」を参考に入学手続期間内に所定の手続きを行ってください。
(2) 入学手続には下記のものが必要となるので、あらかじめ用意しておいてください。
ア　入学諸費用（金額、納入方法については、45 ページ「入学諸費用等について」を参照のこと）
イ　(a)　日本の大学・大学院を卒業・修了した者
　　卒業・修了証明書、成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
　(b)　外国の大学・大学院を卒業・修了した者
　　成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
　　学位取得証明書（出願時に未提出の者のみ）
ウ　住民票
エ　保証人の住民票（日本国以外の国籍を有する者）

(注 1) 入学手続期限までに卒業証明書・成績証明書等を提出できない場合は、その旨を連絡することにより、期限の延長を認めています。詳細は「入学手続の手引」を参照してください。
(注 2) その他本学指定様式の書類の提出が必要になります。
(注 3) 日本国以外の国籍を有する場合、**住民票は在留資格、在留期限の記載を含むもので、手続期限から３か月以内に発行されたものを提出してください。**

（３）保証人について

出願時には保証人は必要ありませんが、合格後、入学手続の際には保証人が必要です。
保証人は、以下の優先順位により届け出てください。
※在留資格が「留学」の方を保証人に選定することはできません。
① 日本に居住する父母のいずれか一名
② 日本に居住し独立の生計を営む父母以外の親族
③ 上記①②の要件に合った保証人が選定できない場合のみ、日本に居住し独立の生計を営む成年者で、学生の指導・支援を行うことのできる者

10. 問い合わせ先

問い合わせ内容	担当	電話番号	事務取扱時間
入学試験要項の公開・過去問題・出願・受験票・入学検定料返還に関すること	文学研究科	03-3296-4143 bunken@mics.meiji.ac.jp	平　日　9:00～11:30 12:30～17:00 土曜日　9:00～12:00
奨学金に関すること	学生支援事務室奨学金係	03-3296-4208 scampus@mics.meiji.ac.jp	平　日　9:30～16:30 土曜日　9:30～12:00
入学検定料・学費に関すること	財務課学費係	03-3296-4096	平　日　9:00～17:00 土曜日　9:00～12:30
留学生の在留資格･奨学金に関すること	国際教育事務室	03-3296-4141	平　日　9:00～11:30 12:30～17:00 土曜日　9:00～12:30

11. 授業時間帯について

時　限	1時限		2時限		3時限		4時限		5時限		6時限	
時間帯	9:00～ 10:40		10:50～ 12:30		13:30～ 15:10		15:20～ 17:00		17:10～ 18:50		19:00～ 20:40	
モジュール ※	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b

※1つの授業は 100 分で行いますが、a 、 b の2つの「モジュール」という 50 分ごとの単位に区分けします。また、この他に、補助的な時間割として、モーニングモジュール(8:00～8:50)、ランチモジュール(12:35～13:25)、ナイトモジュール(20:50～21:40)があります。

12. 大学院奨学金制度について

◎給費奨学金

大学院研究奨励奨学金

明治大学大学院に優秀な成績で入学した者のうち､各研究科が独自に定めた選考基準により成績優秀者を選考し、標準修業年限内（博士前期・修士課程は２年間、後期課程は３年間）にわたり、授業料年額の２分の１相当額を給付する奨学金制度です。選考は、研究科ごとに行うため、本人による出願制ではありません。奨学金の給付により、研究に専念する環境を整えることで、今後研究者としての道を目指す優秀な学生を育成することを目的としています。

当該制度には、博士後期課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金Ａ」と、博士前期・修士課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金Ｂ」があり、継続して受給するためには、各年度において各研究科の定める継続条件を満たす必要があります。

ただし、明治大学私費外国人留学生奨学金（国際教育事務室所管）の採用者となった場合は、研究奨励奨学金の受給はできません。研究奨励奨学金の受給を希望する場合は、私費外国人留学生奨学金に応募しないでください。

また、大学院研究奨励奨学金採用者は、日本学生支援機構第一種奨学金及び第二種奨学金への出願も可能です。

なお、当該奨学金を受給中に、休学、退学（３月３１日付退学を含む)、除籍となった場合、学校処分を受けた場合は、給付金を返還していただきます。また、助手に採用される等の一定の条件に合致した場合には、奨学金の給付は行いません。

詳細は、大学院事務室（42 ページ参照）にお問い合わせください。

特定研究者育成奨学金

明治大学では、特定の研究課題に専念する機会を付与し、もって学術研究の発展に資する優れた研究者を育成することを目的として、学費年額相当額の奨学金を給付します。奨学金は、各年度において一定の条件を満たすことにより、標準修業年限を上限とし、継続して給付されます。

給付対象となるのは本学大学院に在学し、独立行政法人日本学術振興会特別研究員（特別研究員ＤＣ１及び特別研究員ＤＣ２に限る）に採用される者となります。

なお、当該奨学金を受給中に、休学、退学（３月３１日付退学を含む)、除籍となった場合、学校処分を受けた場合は、給付金を返還していただきます。

詳細は、大学院事務室（42 ページ参照）にお問い合わせください。

13. ビザ（査証）について

（１）受験ビザ取得について

「受験許可証」の発行を希望する者は、「入学志願書（外国籍用）」の「受験許可証欄」の「要」に○印を付けて、以下の２点を出願書類と一緒に送付してください。

・「入学志願票Ａ票」、「入学志願書」に貼付したものと同一の写真（タテ４㎝×ヨコ３㎝）１枚
（写真裏面には、志望研究科名・氏名を記入してください。）

・英文表記による海外送付先住所を記したメモ（誤読等防止のためパソコン等で入力したもの。）

ただし、「出入国管理及び難民認定法」により、一般旅券所持者に対する相互査証免除国に制定されている等で、受験ビザの取得が不要な方に対しては、申し込みがあったとしても「受験許可証」の発行はいたしません。

【査証免除国（外務省 HP 参考）： https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/novisa.html 】

※明治大学から交付された「受験許可証」により在外日本国公館（大使館・領事館）でビザ申請手続きを行った場合でも、必ず許可されるとは限りません。

※ビザの取得や入国に関する手続きは、受験生が個人の責任で行う必要があります。

（２）留学ビザ取得について

以下いずれの場合も、必要書類や手続きの詳細は、入学予定者に通知される国際教育事務室からの案内を確認してください。

① 日本における在留資格を有していない者（新規入国）

日本への入国には、「留学」ビザ（査証）が必要です。大学では、ビザ申請に必要な「在留資格認定証明書(COE)」の代理申請を行っています。必要書類等の詳細は、合格者へ案内します。

【ビザ取得までの流れ】

１．学生 ⇒ 大学：入学決定後、速やかに必要書類を提出してください。
２．大学 ⇒ 入管：東京出入国在留管理局へ COE を代理申請します。
３．入管 ⇒ 大学：審査後、COE が交付されます。
４．大学 ⇒ 学生：COE を送付します。受領後、学生本人が現地の日本大使館等へビザ申請を行ってください。

② 日本における在留資格を有している者

◆在留資格が「留学」の場合

在留期間満了日の 3 カ月前から、在留期間更新許可申請が可能です。

※所属機関（学校）が変わる場合は、変更後 14 日以内に出入国在留管理局へ「所属機関に関する届出」を提出する義務があります。

◆在留資格が「留学」以外の場合

「留学」への変更を希望する場合、入学手続完了後に研究科が発行する「入学許可書」を用いて在留資格変更許可申請を行ってください。

※「留学」以外の在留資格でも在籍は可能ですが、留学生対象の奨学金の多くは在留資格「留学」が条件となります。

※「短期滞在」から「留学」への変更は原則認められません。一度出国し、上記①の手順でビザを取得してください。

※ COE および在留資格の更新・変更の審査は出入国在留管理局が行います。審査の結果、不交付・不許可となった場合、本学は一切の責任を負いません。

14. 入学諸費用等について

入学諸費用及び入学後の学費等の詳細については、明治大学ホームページに掲載している 2027 年度入学者の学費等一覧をご参照ください。

https://www.meiji.ac.jp/suito/gakuhi.html